

## 作成資料





サン・ファアン診療所概況

1991年2月現在

所在地	Colonia San Juan de Ypacacani, Canton San Carlos, Provincia Ichilo, Dto. Santa Cruz, Bolivia サンタ・クルス市(首都ラ・パスより空路60分)から移住地入口まで23km. サンタ・クルス市より移住地中心まで1日3往復のバス便がある。										
電気	1983年電化完了。										
飲料水	全戸に深井戸掘削済。センター地区のみ簡易水道建設済。水質悪く、浅井戸は飲料不適。										
施設	診療所	(レンガ建)	141.00 m <sup>2</sup>	1台	高圧水圧滅菌機	1台					
	病棟	(レンガ建)	310.49 m <sup>2</sup>	1台	超音波診断装置	1台					
設備	診療室	(レンガ建)	182.00 m <sup>2</sup>	1台	レントゲン装置	1台					
	手術室	(レンガ建)	118.00 m <sup>2</sup>	1台	ディープ・フリーザー	1台					
車両	看護婦宿舎	(レンガ建)	161.00 m <sup>2</sup>	1台	手術台兼分岐台	1台					
	看護士宿舎	(レンガ建)	55.76 m <sup>2</sup>	1台	高圧滅菌器	1台					
一般備品	深井戸	(レンガ建)	96.00 m <sup>2</sup>	1式	膀胱尿道鏡	3式					
	救急車	(TOYOTA LAND CRUZER)	1台	1台	内視鏡	1台					
勤務員	医師	0	2	1	5	1	1	1	1	3	
	看護士	0	2	1	5	1	1	1	1	3	
診療件数実績	内科・小児科	1,662	1,938	1,986	1,987	1,988	1,989	3,926	術後補助悪く、また住民の衛生知識も低い。		
	外科・整形外科	617	707	704	704	713	713	1,634	呼吸器虫による伝染病(マラリア)、栄養不足による疾病が多いので、啓蒙活動が必要。		
日系人の割合%	産婦人科	480	570	686	686	436	436	963			
	皮膚・泌尿器科	289	386	357	357	307	307	593			
計	耳鼻・咽喉科	87	121	101	101	158	158	265			
	眼科	53	81	122	122	72	72	166			
計	歯科	4	4	7	7	4	4	1			
	精神科	9	12	26	26	11	11	27			
日系人の割合%	その他	921	490	1,725	1,725	997	997	2,082			
	計	4,132	4,309	5,848	5,135	9,687	9,687	9,687	年平均増加率3.6%		
日系人の割合%	計	5.6%	5.2%	5.6%	3.9%	3.3%	3.3%	3.3%	患者数 4,884人		

診療対象者 (入植世帯) 数 (1988年6月現在)	日系人 1,988戸	現地人 3,500戸	計 8,522人	5,499戸 3,152人 (日系人割合27.0%)
----------------------------	------------	------------	----------	----------------------------

診療体制: 診療室、手術室、レントゲン室、分娩手術室、超音波検査室、X線室 (連転手搬) 常勤、事務員は産婦科業務。

入院施設: 入院室8室、ベッド数24床、隔離病棟7室、14床。

移送体制: 運転手常勤、後方病院のあるサンタ・クルス市まで約2時間半。

健康診断: 年1回、幼稚園 (小・中学校) の学童健康診、一般成人健康診、老人健康診 (9月15日敬老の日) を実施。

衛生知識普及: 「消化器疾患」「乳幼児予防接種」「婦人科疾患」等について前運輸協会を主催。

その他: 診療室、処置室、準備室を1990年改修済。

1. 運営委員会が診療所のあり方について明確なものをもっておらず、いつまでもその場限りの対応策から抜け出せないようである。

2. 現地で医師、看護士、事務員等の人材確保が著しく困難である。診療所運営管理体制強化のため事務員を雇用すべく選材を始めているが、実現できない。

3. 他移住地と同様、一世の高齢化に伴う老人医療対策が新たな問題となりつつある。

1. JICAの拠出にあたっては早期に診療所への別荘や運営管理の員材的なスケジュールを決定する予定であり、それとも突き合わせの上、運営委員会でも検討とそれに向けての具体的には既述を決定することにならう。

2. 派遣のメリット・デメリット、避材確保の困難さを考えると、現地の派遣への切り替えは必ずしも有効とは言えない。それよりは、比較的人材の育成が進んでいるペラグアイ、ブラジル等からの医師のリクルートをも考えられるが、現地ニーズに応じた人材を確保し得るかの問題もあり、当面は可能な限り国内でのリクルートを図りつつ隣国からも人材をリクルートできるルートを開拓したい。また、これからの助成内容見直しの際、サンファンの不利な状況をも十分に勘案する必要もある。

3. 衛生知識の普及、定期健診の充実等の対策を講じる必要がある。

# アルト・パラナ診療所概況

1990年10月現在

所在地	Colonia de Alto Parana, Distrito de Bella Vista, Departamento de Itapua, Paraguay パラグアイ第3の都市エンカルナシオン市(人口約5万、首都アスンシオン市から陸路5時間)の北に約72km(バスで約1時間)、アルト・パラナ市街地の中心									
電気	1985年10月電化完了。									
飲料水	1988年6月市街地のみ、上水道施設完工。他各戸は井戸使用。									
施設	診療所	375.78㎡	高圧送電設備	1台	超音波診断装置	1台	レントゲン装置	1台	X線フィルム自動現像機	1台
設備	医師宿舎	68.31㎡	(レンガ建)		電動式分液石	1台	電動加圧手術台	1台	電動吸引装置	1台
備品	看護宿舎	192.50㎡	(レンガ建)		電動吸引装置	1台	電動吸引装置	1台	電動吸引装置	1台
車両	運送手術室	67.50㎡	(レンガ建)		電動吸引装置	1台	電動吸引装置	1台	電動吸引装置	1台
一般備品	給水施設	80.00㎡	(レンガ建)		電動吸引装置	1台	電動吸引装置	1台	電動吸引装置	1台
診療スタッフ	車庫	1基	(レンガ建)		電動吸引装置	1台	電動吸引装置	1台	電動吸引装置	1台
診療件数	救急車	(TOYOTA LAND CRUZER) 1台			電動吸引装置	1台	電動吸引装置	1台	電動吸引装置	1台
診療実数	応接セット	3組			電動吸引装置	1台	電動吸引装置	1台	電動吸引装置	1台
日系人の割合%	ルームクーラー	21台			電動吸引装置	1台	電動吸引装置	1台	電動吸引装置	1台
医師	西文タイプライター	1台			電動吸引装置	1台	電動吸引装置	1台	電動吸引装置	1台
外科	VTR装置	1式			電動吸引装置	1台	電動吸引装置	1台	電動吸引装置	1台
内科	テレビ	2台			電動吸引装置	1台	電動吸引装置	1台	電動吸引装置	1台
産婦人科	診療室	1			電動吸引装置	1台	電動吸引装置	1台	電動吸引装置	1台
皮膚科	検査室	1			電動吸引装置	1台	電動吸引装置	1台	電動吸引装置	1台
泌尿器科	手術室	1			電動吸引装置	1台	電動吸引装置	1台	電動吸引装置	1台
耳鼻科	レントゲン技師	1名			電動吸引装置	1台	電動吸引装置	1台	電動吸引装置	1台
眼科	その他	7			電動吸引装置	1台	電動吸引装置	1台	電動吸引装置	1台
歯科	診療室	2			電動吸引装置	1台	電動吸引装置	1台	電動吸引装置	1台
その他	検査室	2			電動吸引装置	1台	電動吸引装置	1台	電動吸引装置	1台
計	検査室	2			電動吸引装置	1台	電動吸引装置	1台	電動吸引装置	1台
日系人の割合%	検査室	2			電動吸引装置	1台	電動吸引装置	1台	電動吸引装置	1台

診療対象者数 (入植世帯)数 (1990年10月1日現在)	日系人 289戸	現地人 805戸	計 1,094人	1,088戸 8,576人 (日系人割合18.9%)
診療体制	診療室、手術室、レントゲン室、分娩手術室完備。レントゲン技師(運送手術)常勤。			
入院	入院室8室、ベット13床。			
移送体制	運送手術車、後方病院のあるエンカルナシオン市まで約1時間(72km)。オエナウ市まで約30分(25km)。			
健康診断	1989年より年1回、日本人会婦人を対象に超音波診断を含めた健康診断を実施。 1990年より血液検査・内臓検査を含めた一般成人健康診断を実施。			
衛生知識普及	特になし。			
その他	産科青年(看護婦と産科検査員)の研修を行い、現地での研修の他に現地産科の看護婦の種々の技術の向上にも貢献させている。			
問題点	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 追加の老川が著しく、早急に排水所と待合室と診療室の改築が必要。</li> <li>2. インフレに対する坂本村は対策が必要。</li> <li>3. 医薬品・医療器具等の購入レベルの低下が懸念される。</li> <li>4. 日系市民の取組活動による交通手段が多い。シートベルト装着の普及が必要。</li> <li>5. 人口密度の低い地域にあり、診療所のマンパワーが足りないことから、高度の医療機器を十分活用しづらい。</li> <li>6. 派遣主体の現状では、診療所運営長期間の立案、奨励は困難なので、将来優秀な日系医師を所長として確保することが必要である。</li> <li>7. 看護婦の人材確保に不安がある。看護婦の本科出身制度の確立を望む声もある。</li> </ol>			
診療所の希望・将来構想	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医師は自治会の組織と共同で診療所の確保を計り、会員と家族には報酬に等しい金額で診療や治療ができるようにする。</li> <li>2. 現地でも高層ビル社会に向かっており、老人福祉施設の確保を検討する必要がある。</li> </ol>			

フラム診療所概況

1990年10月現在

所在地	Colonia Fram, Distrito de Itapúa, Departamento de Itapúa, Paraguay パラグアイ第3の都市エンカルナシオン市(人口約5万、首都アスンシオン市から陸路5時間)から移住地中心まで45km。国道は完全舗装(18km)。毎日2往復のバス使用。																																																																																																																															
電気	1988年6月電化完了。																																																																																																																															
飲料水	各戸、施設共井水使用。																																																																																																																															
施設	<table border="1"> <tr> <th>施設</th> <th>面積</th> <th>備品</th> </tr> <tr> <td>診療所</td> <td>408.00㎡</td> <td>高圧変圧機</td> </tr> <tr> <td>医師宿舎</td> <td>63.00㎡</td> <td>超音波診断装置</td> </tr> <tr> <td>看護師宿舎</td> <td>93.00㎡</td> <td>レントゲン装置</td> </tr> <tr> <td>看護婦宿舎</td> <td>57.00㎡</td> <td>新生児成人用保生器</td> </tr> <tr> <td>運転手宿舎</td> <td>80.00㎡</td> <td>分枝台</td> </tr> <tr> <td>給水施設</td> <td>1.1基</td> <td>電動歯手術台</td> </tr> <tr> <td>発電室</td> <td>12.00㎡</td> <td>保鮮器</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>光線治療ユニット</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>全身麻酔装置</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>その他</td> </tr> </table>	施設	面積	備品	診療所	408.00㎡	高圧変圧機	医師宿舎	63.00㎡	超音波診断装置	看護師宿舎	93.00㎡	レントゲン装置	看護婦宿舎	57.00㎡	新生児成人用保生器	運転手宿舎	80.00㎡	分枝台	給水施設	1.1基	電動歯手術台	発電室	12.00㎡	保鮮器			光線治療ユニット			全身麻酔装置			その他	<table border="1"> <tr> <th>医療器材・備品</th> <th>1988</th> <th>1989</th> </tr> <tr> <td>高圧変圧機</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>超音波診断装置</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>レントゲン装置</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>新生児成人用保生器</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>分枝台</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>電動歯手術台</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>保鮮器</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>光線治療ユニット</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>全身麻酔装置</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </table>	医療器材・備品	1988	1989	高圧変圧機	1	1	超音波診断装置	1	1	レントゲン装置	1	1	新生児成人用保生器	1	1	分枝台	1	1	電動歯手術台	1	1	保鮮器	1	1	光線治療ユニット	1	1	全身麻酔装置	1	1	その他	1	1																																																												
施設	面積	備品																																																																																																																														
診療所	408.00㎡	高圧変圧機																																																																																																																														
医師宿舎	63.00㎡	超音波診断装置																																																																																																																														
看護師宿舎	93.00㎡	レントゲン装置																																																																																																																														
看護婦宿舎	57.00㎡	新生児成人用保生器																																																																																																																														
運転手宿舎	80.00㎡	分枝台																																																																																																																														
給水施設	1.1基	電動歯手術台																																																																																																																														
発電室	12.00㎡	保鮮器																																																																																																																														
		光線治療ユニット																																																																																																																														
		全身麻酔装置																																																																																																																														
		その他																																																																																																																														
医療器材・備品	1988	1989																																																																																																																														
高圧変圧機	1	1																																																																																																																														
超音波診断装置	1	1																																																																																																																														
レントゲン装置	1	1																																																																																																																														
新生児成人用保生器	1	1																																																																																																																														
分枝台	1	1																																																																																																																														
電動歯手術台	1	1																																																																																																																														
保鮮器	1	1																																																																																																																														
光線治療ユニット	1	1																																																																																																																														
全身麻酔装置	1	1																																																																																																																														
その他	1	1																																																																																																																														
備品	<table border="1"> <tr> <th>車両</th> <th>1台</th> </tr> <tr> <td>救急車 (TOYOTA LAND CRUZER)</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>ルームクーラー</td> <td>9台</td> </tr> <tr> <td>西文タイプライク</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>VTR装置</td> <td>1式</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> </table>	車両	1台	救急車 (TOYOTA LAND CRUZER)	1台	ルームクーラー	9台	西文タイプライク	1台	VTR装置	1式	その他																																																																																																																				
車両	1台																																																																																																																															
救急車 (TOYOTA LAND CRUZER)	1台																																																																																																																															
ルームクーラー	9台																																																																																																																															
西文タイプライク	1台																																																																																																																															
VTR装置	1式																																																																																																																															
その他																																																																																																																																
勤務員	<table border="1"> <tr> <th>医療スタッフ</th> <th>1985</th> <th>1986</th> <th>1987</th> <th>1988</th> <th>1989</th> <th>その他勤務員</th> <th>通訳手</th> <th>難産夫</th> </tr> <tr> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>内科・小児科</td> <td>1,038</td> <td>1,344</td> <td>1,516</td> <td>1,637</td> <td>1,531</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>外科・整形外科</td> <td>244</td> <td>423</td> <td>496</td> <td>515</td> <td>544</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>産婦人科</td> <td>621</td> <td>844</td> <td>997</td> <td>1,140</td> <td>1,218</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>皮膚・泌尿器科</td> <td>109</td> <td>202</td> <td>214</td> <td>159</td> <td>215</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耳鼻・咽喉科</td> <td>96</td> <td>45</td> <td>61</td> <td>57</td> <td>67</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>眼科</td> <td>-</td> <td>16</td> <td>95</td> <td>30</td> <td>10</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>歯科</td> <td>-</td> <td>9</td> <td>12</td> <td>8</td> <td>6</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>眼科・口腔科</td> <td>-</td> <td>234</td> <td>381</td> <td>393</td> <td>505</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>精神科</td> <td>679</td> <td>227</td> <td>293</td> <td>416</td> <td>693</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,787</td> <td>3,344</td> <td>4,025</td> <td>4,355</td> <td>4,789</td> <td>年平均増加率14.7%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>日系人の割合%</td> <td>36.9</td> <td>32.5</td> <td>27.8</td> <td>24.4</td> <td>21.9</td> <td>患者数</td> <td>4,789</td> <td>医師</td> </tr> </table>	医療スタッフ	1985	1986	1987	1988	1989	その他勤務員	通訳手	難産夫	0	1	0	5			0	1	2	内科・小児科	1,038	1,344	1,516	1,637	1,531				外科・整形外科	244	423	496	515	544				産婦人科	621	844	997	1,140	1,218				皮膚・泌尿器科	109	202	214	159	215				耳鼻・咽喉科	96	45	61	57	67				眼科	-	16	95	30	10				歯科	-	9	12	8	6				眼科・口腔科	-	234	381	393	505				精神科	679	227	293	416	693				その他									計	2,787	3,344	4,025	4,355	4,789	年平均増加率14.7%			日系人の割合%	36.9	32.5	27.8	24.4	21.9	患者数	4,789	医師	<p>診療所の希望・将来構想</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護婦並ひに薬剤師の育成に努力する。JICA関係の本邦(現地)研修制度を最大限に活用したい。</li> <li>2. 特別医療の充実を計りたい。</li> <li>3. 成人新卒生の研究。</li> </ol>
医療スタッフ	1985	1986	1987	1988	1989	その他勤務員	通訳手	難産夫																																																																																																																								
0	1	0	5			0	1	2																																																																																																																								
内科・小児科	1,038	1,344	1,516	1,637	1,531																																																																																																																											
外科・整形外科	244	423	496	515	544																																																																																																																											
産婦人科	621	844	997	1,140	1,218																																																																																																																											
皮膚・泌尿器科	109	202	214	159	215																																																																																																																											
耳鼻・咽喉科	96	45	61	57	67																																																																																																																											
眼科	-	16	95	30	10																																																																																																																											
歯科	-	9	12	8	6																																																																																																																											
眼科・口腔科	-	234	381	393	505																																																																																																																											
精神科	679	227	293	416	693																																																																																																																											
その他																																																																																																																																
計	2,787	3,344	4,025	4,355	4,789	年平均増加率14.7%																																																																																																																										
日系人の割合%	36.9	32.5	27.8	24.4	21.9	患者数	4,789	医師																																																																																																																								
診療対象者数(人種世帯)数(1990年10月1日現在)	<table border="1"> <tr> <th>日系人</th> <th>194戸</th> <th>1,123人</th> </tr> <tr> <td>現地人</td> <td>610戸</td> <td>3,670人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	日系人	194戸	1,123人	現地人	610戸	3,670人	計			<p>231戸 1,300人 (日系人割合23.4%)</p>																																																																																																																					
日系人	194戸	1,123人																																																																																																																														
現地人	610戸	3,670人																																																																																																																														
計																																																																																																																																
診療体制	診療室、手術室、X線室、分娩手術室完備。現在、看護婦が事務員を兼務。																																																																																																																															
入院	入院: 入院室6室、ベット数8床。																																																																																																																															
移送体制	運送手続: 後方病院のあるエンカルナシオン市まで約1時間(45km)。																																																																																																																															
予防衛生	毎年1回、ラパス日本語学校児童、ラパス婦人会の健康診断を実施。1989年より市内日系成人男子の健康診断開始。(これにより移住地住民全員の健康診断実現した。)																																																																																																																															
衛生組織普及	1982年より、ラパス聖徳法王権立人学級で医師、看護婦候補生として衛生指導に当たっている。 日本語学校小学院低学年に対して毎朝排便、正しい歯の磨き方を指導している。																																																																																																																															
その他	特別入院室として2室2床を現在整備中。 臨時の産科兼手術室に組合員(日系住民の63%)は全員加入しているが、組合員以外(37%)の妊産婦についても随時。																																																																																																																															
問題点	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 輸入医療器具等の購入レートの改善。</li> <li>2. 医師の研修、休暇等による医師不在時の診療体制についての対策。</li> </ol>																																																																																																																															

# イグアス診療所概況

1990年10月現在

所在地	Colonia Yguazu, km41.5/Ruta Internacional, Departamento de Alto Parana, Paraguay 首都アスンシオンより南緯線あり。急行バスで4時間30分。ブラジルとの国境から41kmの地点。										
電気	1974年度末にほぼ全電化済。										
飲料水	各戸、施設皆井戸水使用。水質良好なるも11月から2月以降枯渇する場合がある。										
施設	診療所 (レンガ建)	328.88㎡	医療機材・備品							高圧酸素装置機	1台
設備	医師官舎 (レンガ建)	89.10㎡	超音波診断装置 レントゲン装置 X線フィルム自動現像機 ポータブルX線装置 高圧酸素装置 新生児処置台 無痛灯 光線治療ユニット 自動血圧計装置 高圧酸素装置 直流電解型除颤器 直流酸素吸引器 その他							1台	
設備	看護官舎 (レンガ建)	73.00㎡								1台	
設備	運動官舎 (レンガ建)	54.00㎡								1台	
設備	給水施設 (レンガ建)	60.00㎡								1台	
車両	救急車 (TOYOTA LAND CRUZER)	1台								1台	
一般備品	応接セット ルームクーラー 西文タイプライター VTR装置 その他	1組 9台 1台 2式								1台	
勤務員	診療スタッフ	1	0	2	4	1987	1988	1989	事務員	1	
	派遣医	1	0	2	4	1987	1988	1989	検査手	1	
	特約医	1	0	2	4	1987	1988	1989	他勤務員	1	
診療件数実績	内科・小児科	647	1,551	1,930	3,364	2,554	2,554	2,554	検査	3	
	外科・整形外科	241	802	943	928	1,226	1,226	1,226	感風、胃炎、挫傷、腰痛 症多し。痛にマラリア、 デング熱等あり。	1	
	産婦人科	364	746	930	1,324	1,317	1,317	1,317	受診者の人種的・疫学的 多様性が顕著である。 ブラジル人患者の増加が 目立つ。	1	
	皮膚・泌尿器科	144	169	306	502	585	585	585	平均入院患者は7名/月 目立つ。	1	
	耳鼻・咽喉科	28	49	52	66	26	26	26	年平均増加率4.3%	1	
	眼科	7	14	24	-	6	6	6	患者数 13,976人/医師	1	
	歯科	2	1	4	6	302	302	302		1	
	精神科	100	55	104	7,689	7,689	7,689	7,689		1	
	その他	2,117	3,643	5,688	7,689	7,689	7,689	7,689		1	
	計	3,650	7,030	9,981	13,213	13,976	13,976	13,976		1	
	日系人の割合%	51.2	46.3	39.2	35.9	34.9	34.9	34.9		1	

診療対象者 (入植世帯)数 (1988年4月1日現在)	日系人	222戸	1,030人	計	1,284戸 7,113人 (日系人割合14.5%)
診療体制	診療室、手術室、レントゲン室、分娩手術室完備。レントゲン技師(通称手兼)常勤。				
入院	入院室5室。ベット数7床。				
移送体制	通称手兼勤務。エステ市病院まで約90分。アスンシオン総合病院まで約4時間。				
健康診断	年1回イグアス日語学校卒業生健康診断。ストロエスネル市日本人会老人健康診断。幼稚園児健康診断。ラ・コルメナナ移住地健康診断実施。 1988年9月14日(敬老の日)に日本人老人無料健康診断実施。				
衛生知識普及	マラリア及びのぼし病伝染病予防のためのパンフレットを作成、配布。 年数回日系婦人、老人を対象に衛生講習会を実施。				
その他	本年9月より薬師館を採用し、より充実した体制で医薬品を取り扱っている。				
問題点	1. 医薬品・医療器具等の輸入の確保が望まれる。 2. ここ数年の診療所レベルの飛躍的向上、地域住民の信頼度の増加等により、患者数が急増しており、対応が間に合わなくなってきた。医師2名体制のスタッフ増員とともに、診療室等の増設が必要である。				
対応策	1. 診療スタッフを常勤医師2名、他非常勤医師を配置して、診療体制を拡充し、手術も可能な体制に持っていく。 2. 看護婦の増員、調理師の採用によって看護体制を充実させる。 3. 健康講座を設ける等、地域住民の予防衛生知識の普及を計る。				

オキナワ診療所運営体制・人員配置

1991年2月1日現在

	役 職	氏 名	兼 務・そ の 他	備 考
運営委員会 (9名)	委 員 長 副委員長 委 員	中田 喜正 玉城 輝俊 葦地 広 真栄城 徳治 志慶真 光政 知花 正治 大沢 辰治 小菅 伊之彦	オキナワ日ボ協会役員 " 役員 " 会長 " 第一地域長 " 第二地域長 " 第三地域長 診療所長 JICAオキナワ事業所長	*年間、診療所収益(黒字)45,000 \$程度(1990年度実績)あり。 *診療所収益から積み立てた健康保 健基金約33万\$ \$を、SANTA CRUZ銀行BAHAMAS 支 店(ドル口座)に預金。
問 題 点	<p>*運営委員会と診療所職員との役割分担等が確立していない。また、現採医の意見が運営に反映されていない。</p> <p>*診療所運営に関する中・長期計画策定中であるが、意見統一に困難がある。</p> <p>*診療所専属の事務員を長期雇用したいが人材がない。取り敢えず、JICAサンタ・クルス支所の退職職員を週2日勤務で短期雇用する予定。</p>			
勤 務 員	医 師  検査技師 X線技師 看 護 婦  事 務 員 運 転 手 雑 役 婦	(3名) 大沢 辰治 井上 和雄 名嘉村 保 イヴァルド グスマン (1名) (1名) (6名) 池宮城 弘美 岸本 愛子 謝花 喜美子 島袋 小百合 障子 みどり (1名) (3名)	派遣医師・常勤・産婦人科 現採医師・常勤・内科 診療所雇用医師・常勤外科 特約医師・非常勤・歯科  運転手が兼務・無資格  婦長 準看 " 準看、分室勤務 X線技師を兼務	任期は1991年12月まで ブラジル出身  週一日 木曜勤務  近く更に1名短期で雇用する予定
問 題 点	<p>*医師・看護婦の確保が非常に困難。</p> <p>*派遣医師の継続派遣の要望が強い。</p>			



サン・ファン診療所運営体制・人員配置

1991年1月1日現在

	役職	氏名	兼務・その他	備考
運営委員会 (6名)	委員長 委員	船戸 益男 林 英次 宮園 英雄 守田 将臣 牧尾 孝 神谷 アグスト	サンファン日ボ協会理事 " 会長 " 副会長 " 理事 " " 診療所長	*診療所医師1名・JICAサンファン事業所長は必要に応じオブザーバーとして参加。 *診療所収益から現在62,805\$を積み立て、農協に預金。
問題点				*運営体制強化のため事務長を長期雇用したいが人材確保難で責任のある運営体制が確立できない。 *目下経営に苦心しており、オキナワ診療所のように運営収益を基金として保健組合を設立させる等を考える余裕がない。
勤務員	医師  検査技師 X線技師 看護婦  事務員 運転手 雑役婦	(3名) 神谷 AUGUSTO 新田 CARLOS ナレオン アナクラ (1名) (1名) (6名) 池田 七奈重 仁田原ひとみ 高橋 貞子 畑中 美保子 ミリアン アギラル スサナ ウィルカ ベラス (1名) 本田 理子 (1名) (3名)	現採医師・常勤・産婦人科 現採医師・常勤・内科 特約医師・非常勤・歯科 運転手を兼務 婦長、3月退職予定 3月退職予定 開発青年 池田婦長後任として1月に採用 3月退職予定 X線技師が兼務	ブラジルPORTO ALEGRE出身
問題点				*医師・看護婦・事務員等の確保が非常に困難。 *現採医1名の派遣医への切り替え(5年程度)を希望している。

アルト・パラナ診療所運営体制・人員配置

1991年2月1日現在

	役 職	氏 名	兼 務 ・ そ の 他	備 考
運営委員会 (9名)	委 員 長 副委員長 担当議員  監査委員長 委 員 "	小田 義彦 工藤 繁 久保 武二 馬屋原茂章 高橋 智津代 斎藤 宮子 佐藤 志摩 高岡 照泰 園田 義人 玉井 信幸	ピラポ日本人会会長 同副会長  同事務局長・診療所事務長 診療所事務員 " 診療所炊事婦	*元年度の診療所収益(黒字)は 4000万Gs(32,000\$)程度。現在積 立金10,679万Gs(80,000\$)程度。 Gs建てで農協・銀行(普通・当座) に分割預金。 *診療所医師も委員会に参加。
問 題 点	*居住国の医療機関としての開業及び薬剤師申請を実施中 *診療単価については医師と事務方(単価アップを希望)とで対立あり。			
勤 務 員	医 師  薬 剤 師 検査技師 X線技師 看 護 婦  事 務 員 運 転 手 雑 役 婦	(4名) 堤 一彦 三井 治雄 高岡 三二 上杉 もと 越智 論子 三井 由美子 (2名) (1名) (7名) エステラ ルデス セルガ ガレ 高岡 静 斉藤 芳子 西館 郁代 西館 ヤエ 宇都本さおり 西大篠あやこ 高橋 こずえ 野田 素恵 (2名) (1名) (3名)	派遣医師・常勤・外科 現採医師・常勤・内科 特約医師・常勤・産婦人科 特約医師・非常勤・眼科 診療所雇用医師・歯科  運転手を兼務  婦長・保健婦兼助産婦  厚生省研修中 " X線技師が兼務	1991年7月で現採に切り替え予定  週2回勤務  *看護婦のうちの2名が非日系人 *殆ど全看護婦が准看
問 題 点				

フラム診療所運営体制・人員配置

1991年2月1日現在

	役職	氏名	兼務・その他	備考
運営委員会 (6名)	顧問 委員長 副委員長 委員 監査委員長 監査委員	行広 悟 吉田 長栄 氏家 正晴 小倉 正義 笹川 良一 尾谷 汎	ラパス農協 組合長 ラパス日本人会 会長 チャベス日本人会副会長 ラパス日本語学校 校長 ラパス日本人会 監事長 チャベス日本人会 監事	*ラパス、チャベスから3名、監査2名、顧問1名で構成。 *委員会にはオブザーバーとして診療所医師・JICA職員が参加。 *元年度の診療所収益(黒字)は25,000\$程度。現在の積立金5,500万Gs(45,000\$)程度はGs建てで農協に預金。
問題点	*運営委員会に技術系(診療所医師等)・事務系(事務長等)の委員がない。			
勤務員	医師 検査技師 X線技師 看護婦 準看護生 事務員 運転手 雑役婦	(1名) 島中 考基 不在 (1名) (5名) 三島 俊江 西岡 美香 小柳 ルミ子 山田 恵 (2名) 不在 (2名)	現採医師・常勤・一般外科 医師が兼務 運転手を兼務  日本人会事務員を兼務 X線技師が兼務 期間採用	*殆ど中卒を採用。資格取得者なし *診療所収益から給料を上乗せしている。  給料は全額診療所支出
問題点	*現在の体制では休日等の急患に充分対応できておらず、医師一人体制解消の強い要望あり。 *看護婦の人手不足解消のため、比較的継続して勤務する非日系人の雇用を検討中。 *出産が医師の多忙に拍車をかけているので助産婦を雇用したい。			

イグアス診療所運営体制・人員配置

1991年2月1日現在

	役職	氏名	兼務・その他	備考
運営委員会 (10名)	委員長 副委員長 委員	齋藤 栄積 竹下 国雄 工藤 忠三 原 万平 横田 善則 福岡 守 倉兼 久 高田 茂 山本 晃 飯田 治章	イグアス日本人会会長 日本人会福祉厚生担当理事 日本人会理事 " " 日本人会地区代表 " " " " " 日本人会 監事長	*委員会は年2回開催 *実際の事務は日会事務局長(診療所事務を兼務)が診療所医師等と相談して進めており、委員会は半ば形式的な意志決定機関。 *診療所収益(黒字)は年900万Gs(約7000\$)程度。 現在積立金2700万Gs程度。Gs建て1年定期預金で貯蓄。 *診療所の立地条件が良く、外国からの患者も多い。今後診療所を拡大し、収益を増やそうとする積極的姿勢もある。
問題点				*運営委員会に技術系(診療所医師等)・事務系(事務長等)とも参加していない。
勤務員	医師 薬剤師 検査技師 X線技師 看護婦 事務員 運転手 雑役婦	(3名) 田中 良穂 赤城 孝一 鈴木 美香 (1名) 不在 (1名) (4名) 小林 ふさ子 金沢 ミエ 中山バルバルティータ 高木 マリアナ (1名) 不在 (2名)	現採医師・常勤・産婦人科 特約医師・非常勤・内科 特約医師・非常勤・歯科 " " 運転手を兼務 準看資格者 " " " 日本人会事務員が兼務 X線技師が兼務	週2日
問題点				*診療所スタッフと運営委員会との意志疎通が不十分。 *診療所の管理運営・将来の方向付け等を指導する専門家の派遣を要望している。 *年々周辺地域・外国からの患者が増加しており、人手不足から医師2名体制の要望がある。

1989年度診療所診療科目別件数

国名	パラグアイ			ボリヴィア		計 (件数)
	診療所名 科	アルト パラナ	フラム	イグアス	サン ファン	
内科・小児科	3.765	1.531	2.554	3.926	11.523	23.299
外科・整形外科	1.356	544	1.226	1.634	1.886	6.646
産婦人科	1.189	1.218	1.317	993	1.955	6.672
皮膚科・泌尿器科	409	215	565	593	571	2.353
耳鼻咽喉科	126	67	125	265	225	808
眼科	747	10	26	166	136	1.085
歯科・口腔科	248	6	11	1	13	279
精神・神経科	209	505	279	27	287	1.307
健康診断・ 予防接種・その他	5.391	693	7.873	2.062	3.904	19.923
往診(内数)	-	-	-	(7)	-	(7)
入院(内数)	(206)	(244)	(53)	(236)	(18)	(757)
合計	13.440	4.789	13.976	9.667	20.500	62.372
うち邦人移住者の 割合(%)	35.9	21.9	34.9	33.3	19.3	29.7

1988年度診療所診療科目別件数

国名	パラグアイ			ボリヴィア		計 (件数)
	診療所名 科	アルト パラナ	フラム	イグアス	サン ファン	
内科・小児科	3,821	1,637	3,364	2,437	13,835	24,094
外科・整形外科	1,238	515	928	713	2,099	5,493
産婦人科	912	1,140	1,324	436	1,968	5,780
皮膚科・泌尿器科	456	159	502	307	548	1,972
耳鼻咽喉科	137	57	98	158	268	718
眼科	711	30	-	72	99	912
歯科	16	8	6	4	7	41
精神・神経科	324	393	302	11	267	1,297
健康診断・ 予防接種・その他	3,901	416	7,689	997	4,392	17,395
往診(内数)	-	-	(25)	(4)	(1)	(30)
入院(内数)	(167)	(113)	(57)	(193)	(139)	(669)
合計	11,516	4,355	13,213	5,135	23,483	57,702
うち邦人移住者の 割合(%)	31.7	24.4	35.9	39.2	20.3	30.3

1987年度診療所診療科目別件数

国名	パラグアイ			ボリヴィア		計 (件数)
	診療所名 アルト パラナ	フラム	イグアス	サン ファン	(*) オキナワ	
内科・小児科	2.636	1.516	1.930	2.110	11.883	20.075
外科・整形外科	1.381	496	943	704	1.753	5.277
産婦人科	1.425	967	930	696	1.622	5.640
皮膚科・泌尿器科	457	214	306	357	425	1.759
耳鼻咽喉科	96	61	52	101	197	507
眼科	6	95	24	122	126	373
歯科	17	12	4	7	7	47
精神・神経科	704	381	104	26	121	1.336
健康診断・ 予防接種・その他	5.677	283	5.688	1.725	-	13.373
往診(内数)	-	-	(15)	(12)	-	(27)
入院(内数)	(640)	(275)	(59)	(127)	101	(1,202)
合計	12.399	4.025	9.981	5.848	16.235	48.488
うち邦人移住者の 割合(%)	34.7	27.8	39.2	56.0	12.3	34.0

\* : オキナワの各科診療件数には入院数を含まず。

1986年度診療所診療科目別件数

国名 診療所名 科	パラグアイ			ボリヴィア		計 (件数)
	アルト パラナ	フラム	イグアス	サン ファン	(*) オキナワ	
内科・小児科(*)	1.874	1.344	1.551	1.938	8.867	15.574
外科・整形外科	1.140	423	802	707	1.994	5.066
産婦人科	902	844	746	570	1.584	4.646
皮膚科・泌尿器科	406	202	169	386	377	1.540
耳鼻咽喉科(*)	110	45	49	121	145	470
眼科	2	16	14	81	81	194
歯科	18	9	1	4	10	42
精神・神経科	278	234	55	12	15	594
健康診断・ 予防接種・その他	2.423	227	3.643	490	3.943	10.726
往診(内数)	(23)	-	(47)	(32)	-	(102)
入院(内数)	(383)	(222)	(51)	(157)	151	(964)
合計	7.153	3.344	7.030	4.309	17.167	39.003
うち邦人移住者の 割合(%)	45.4	32.5	46.3	52.3	11.6	37.6

\* : オキナワの各科診療件数には入院数を含まず。



1985年度診療所診療科目別件数

国名	パラグアイ			ボリヴィア		計 (件数)
	診療所名 科	アルト パラナ	(*) フラム	イグアス	サン ファン	
内科・小児科	1,042	1,038	647	1,662	1,855	6,244
外科・整形外科	629	244	241	617	666	2,397
産婦人科	558	621	364	490	608	2,641
皮膚科・泌尿器科	177	109	144	289	166	885
耳鼻咽喉科	70	96	28	87	45	326
眼科	11	-	7	53	85	156
歯科	12	-	2	4	8	26
精神・神経科	133	-	100	9	4	246
健康診断・ 予防接種・その他	1,546	679	2,117	921	70	5,333
往診(内数)	(26)	-	(25)	(18)	-	(69)
入院(内数)	(92)	(184)	(18)	(171)	(135)	(600)
合計	4,178	2,787	3,650	4,132	3,507	18,254
うち邦人移住者の 割合(%)	51.0	36.9	51.2	56.1	36.7	46.4

\*: フラム診療所の内科・小児科は精神・神経科を含む。また、耳鼻咽喉科は眼科・歯科を含む。

1984年度診療所診療科目別件数

国名	パラグアイ			ボリヴィア		計 (件数)
	診療所名 科	アルト パラナ	(*) フラム イグアス	サン ファン	オキナワ 第1・2	
内科・小児科	1.365	1.160	997	2.162	2.397	8.081
外科・整形外科	533	358	340	835	497	2.563
産婦人科	571	723	363	605	361	2.623
皮膚科・泌尿器科	222	128	173	469	227	1.219
耳鼻咽喉科	51	85	29	92	71	328
眼科	27	-	14	103	90	234
歯科・口腔科	10	-	-	4	3	17
精神・神経科	-	-	66	19	0	85
健康診断・ 予防接種・その他	1.312	730	1.592	650	15	4.299
往診(内数)	(35)	-	(15)	(14)	(16)	(80)
入院(内数)	(69)	(142)	(24)	(319)	(190)	(744)
合計	4.091	3.184	3.574	4.939	3.661	19.449
うち邦人移住者の 割合(%)	52.7	44.1	46.9	55.4	45.4	49.4

\* : フラム診療所の内科・小児科は精神・神経科を含む。また、耳鼻咽喉科は眼科・歯科を含む。

1983年度診療所診療科目別件数

国名	パラグアイ			ボリヴィア		計 (件数)
	診療所名 科	アルト パラナ	(*) フラム イグアス	サン ファン	オキナワ 第1・2	
内科・小児科	1,735	925	1,280	2,428	1,752	8,120
外科・整形外科	518	318	380	838	456	2,510
産婦人科	748	647	489	639	368	2,891
皮膚科・泌尿器科	242	171	231	628	159	1,431
耳鼻咽喉科	41	61	46	130	57	335
眼科	48	-	36	106	65	255
歯科・口腔科	14	-	-	4	3	21
精神・神経科	-	-	127	19	0	146
健康診断・ 予防接種・その他	1,181	1,106	3,519	1,414	0	7,220
往診(内数)	(32)	-	(24)	(31)	(13)	(100)
入院(内数)	(117)	(132)	(85)	(260)	(131)	(725)
合計	4,527	3,228	6,108	6,206	2,860	22,929
うち邦人移住者の 割合(%)	44.9	37.7	52.6	61.1	49.2	47.2

\* : フラム診療所の内科・小児科は精神・神経科を含む。また、耳鼻咽喉科は眼科・歯科を含む。

1982年度診療所診療科目別件数

国名 診療所名 科	パラグアイ			ボリヴィア		計 (件数)
	アルト パラナ	(*) フラム	イグアス	サン ファン	オキナワ 第1・2	
内科・小児科	1.155	873	1.053	1.521	1.751	6.353
外科・整形外科	551	372	570	470	680	2.643
産婦人科	639	585	510	470	490	2.694
皮膚科・泌尿器科	264	139	215	418	39	1.075
耳鼻咽喉科	59	63	39	105	81	347
眼科	20	-	24	76	35	155
歯科・口腔科	6	-	-	2	6	14
精神・神経科	-	-	125	9	1	135
健康診断・ 予防接種・その他	1.453	909	3.016	511	0	5.889
往診(内数)	(18)	-	(17)	(12)	(10)	(57)
入院(内数)	(114)	(232)	(204)	(115)	(131)	(796)
合計	4.147	2.941	5.552	3.582	3.083	19.305
うち邦人移住者の 割合(%)	53.2	38.6	49.1	53.0	53.0	48.3

\* : フラム診療所の内科・小児科は精神・神経科を含む。また、耳鼻咽喉科は、眼科・歯科を含む。

1981年度診療所診療科目別件数

科	パラグアイ			ボリヴィア		計 (件数)
	診療所名 アルト パラナ	(*) フラム	イグアス	サン ファン	オキナワ 第1・2	
内科・小児科	1.292	794	1.081	2.413	1.305	8.885
外科・整形外科	587	269	575	607	446	2.484
産婦人科	959	523	364	367	183	2.396
皮膚科・泌尿器科	241	126	230	211	79	887
耳鼻咽喉科	40	49	75	81	43	396
眼科	40	-	45	90	29	204
歯科・口腔科	15	-	7	6	7	35
精神・神経科	-	-	-	19	6	25
健康診断・ 予防接種・その他	1.736	492	2.401	1.297	191	6.117
往診(内数)	( - )	( - )	( - )	( 21 )	( - )	( - )
入院(内数)	( - )	( - )	( - )	( 223 )	( - )	( - )
合計	4.918	2.253	4.778	5.091	2.289	18.032
うち邦人移住者の 割合(%)	52.7	50.5	42.7	50.6		

\* : フラム診療所の内科・小児科は精神・神経科も含む。また、耳鼻・咽喉科は眼科・歯科も含む。

オキナワ診療所施設備品リスト

(1988年度までは10万円以上、1989年度以降は20万円以上の備品の記載。 ※ A:よく使用する B:時々使用する C:殆ど使用しない。単位:千円) 1990年9月17日現在

I. 施設

施設名	取得年度	規格・床面積等	耐用年数	老朽化状況等	利用状況※	備	考
水	1970	5 10m	15		A		
医 舎	1979	102 m <sup>2</sup>	15	雨漏り。ペンキ塗り替え要。	A	1983増築。	
第 一 診 護 室	"	320 m <sup>2</sup>	15	配水管各取悪。雨漏り。壁のひび割れ。水回り悪し。	A	1987外来増築	
第 二 看 護 室	1981	72 m <sup>2</sup>	50		A		
第 三 看 護 室	1982	72 m <sup>2</sup>	50	異常無し	A		
第 一 医 師 宿 舎	1985	96 m <sup>2</sup>	50	"	A		
第 二 医 師 宿 舎	1986	60 m <sup>2</sup>	50	"	A	700千円	
外 科 防 犯 フ ェ ン	1988	レンガ					

II. 車輛

種 類	取得年度	取得価格	耐用年数	老朽化状況等	利用状況※	メーカー・型式等	備	考
救 急 車	1990	4,165	6			TOYOTA CARRIER BATALIA (PJ75LY-MR) カリ、3.955cc		現在発注中。未配属。

III. 機械・装置

機 械 名	取得年度	取得価格	耐用年数	老朽化状況等	利用状況※	メーカー・型式等	備	考

IV. 一般備品

備 品 名	取得年度	取得価格	耐用年数	老朽化状況等	利用状況※	メーカー・型式等	備	考
ル ー ム ク ー プ	1980		15	老朽化 騒音ひどい	A	NATIONAL		
ワ ー ン	1989	292	5		A	CANOWORD 4100		

V. 医療器材・備品

備品名	取得年月	取得価格	耐用年数	老朽化状況等	利用状況※	メーカー・型式等	備考
手形高吸	1980		15	異常無し	B	アコマ医科 アトム CM-5738	タイム等不良による燃費増大
成外科基	"		15	"	A	ECHOLAC	
高吸	"		15	使用不能 異常無し	C	サクラ MRH-290P	
無電保	"		15	"	A	アコマ医科 SB-10	
影式婦科	"		15	"	A	第一照明 HA90EL	電球の補充必要
動式婦科	1981		15	"	C	サンリツ MODEL-226	第2移住地に配備
保心	"		15	使用不能	A	ATOM U-80	保温不能
臓蘇生	1982		5	異常無し	C	ATOM U-80 日本光電 LIFE SCOPES TFC-3500	
内規	"		5	何とか使用可能	A	オリンパス TGF-2D	1986修理、レンズにカビ
手洗器	1983		5	異常無し	A	パルソニック TU-520	
殺菌洗診	"		5	異常無し	A	サンリツ MODEL-226	
解剖装置	"		5	部品取り替え必要	A	福田電子 FCP-200	
動物顕微	"		5	異常無し	A	オリンパス AGB-LB-2 (VANOX)	1987修理
方生能	"		5	視野調整困難不良	B		
万能生物	"		5	異常無し	C	オリンパス EXPOSURE CONTROL UNIT PM10-35-AD-1	レンズにカビ
多指腸内	"		5	使用不能	C	オリンパス JF TYPE B4	操作困難、使用困難
大内視	"		5	ゴム部分老朽化	C	ENGSTROM 2032	
内視鏡	"		5	使用できず	C	オリンパス ICF2L2	
婦人科	"		8	異常無し	A	オリンパス UES	
蘇生機	"		8	"	A	河合東三堂 TM-810	
断用	"		5	"	C	ATOM OX-500 (2001#)×2本付	
診用	"		5	"	B	豊田医薬 RH-1	
ツ	"		5	"	A	桑原製薬 内科用No.100-222-B	眼科検査器、音叉、血圧計
ニツ	1984		10	故障多発	A	東芝メディカル DC 12MB-1	
工生機	"		5	"	A	エルマ光学 PC-604	修理しつつ使用
器具	"		5	"	A	アポロン EMERGENCY POWER UNIT	容量不足、乾燥不良
装置	"		5	"	A	平山 MODEL HL-30	1990基礎部取替え、時々故障
球源	1985	2,237	5	時々故障	A	マイルス三共 セラライザー	
電気	"		10	異常無し	A	オリンパス GIF-P10	
圧射	1986	1,600	5	"	A		
型内	1987		5	"	A		
直視	"		5	"	A		
非高反	"		5	"	A		
直視	"		5	"	A		
球源	"		5	"	A		
電気	"		5	"	A		
圧射	"		5	"	A		
型内	"		5	"	A		
直視	"		5	"	A		
球源	"		5	"	A		
電気	"		5	"	A		
圧射	"		5	"	A		
型内	"		5	"	A		
直視	"		5	"	A		
球源	"		5	"	A		
電気	"		5	"	A		
圧射	"		5	"	A		
型内	"		5	"	A		
直視	"		5	"	A		
球源	"		5	"	A		
電気	"		5	"	A		
圧射	"		5	"	A		
型内	"		5	"	A		
直視	"		5	"	A		
球源	"		5	"	A		
電気	"		5	"	A		
圧射	"		5	"	A		
型内	"		5	"	A		
直視	"		5	"	A		
球源	"		5	"	A		
電気	"		5	"	A		
圧射	"		5	"	A		
型内	"		5	"	A		
直視	"		5	"	A		
球源	"		5	"	A		
電気	"		5	"	A		
圧射	"		5	"	A		
型内	"		5	"	A		
直視	"		5	"	A		
球源	"		5	"	A		
電気	"		5	"	A		
圧射	"		5	"	A		
型内	"		5	"	A		
直視	"		5	"	A		
球源	"		5	"	A		
電気	"		5	"	A		
圧射	"		5	"	A		
型内	"		5	"	A		
直視	"		5	"	A		
球源	"		5	"	A		
電気	"		5	"	A		
圧射	"		5	"	A		
型内	"		5	"	A		
直視	"		5	"	A		
球源	"		5	"	A		
電気	"		5	"	A		
圧射	"		5	"	A		
型内	"		5	"	A		
直視	"		5	"	A		
球源	"		5	"	A		
電気	"		5	"	A		
圧射	"		5	"	A		
型内	"		5	"	A		
直視	"		5	"	A		
球源	"		5	"	A		
電気	"		5	"	A		
圧射	"		5	"	A		
型内	"		5	"	A		
直視	"		5	"	A		
球源	"		5	"	A		
電気	"		5	"	A		
圧射	"		5	"	A		
型内	"		5	"	A		
直視	"		5	"	A		
球源	"		5	"	A		
電気	"		5	"	A		
圧射	"		5	"	A		
型内	"		5	"	A		
直視	"		5	"	A		
球源	"		5	"	A		
電気	"		5	"	A		
圧射	"		5	"	A		
型内	"		5	"	A		
直視	"		5	"	A		
球源	"		5	"	A		
電気	"		5	"	A		
圧射	"		5	"	A		
型内	"		5	"	A		
直視	"		5	"	A		
球源	"		5	"	A		
電気	"		5	"	A		
圧射	"		5	"	A		
型内	"		5	"	A		
直視	"		5	"	A		
球源	"		5	"	A		
電気	"		5	"	A		
圧射	"		5	"	A		
型内	"		5	"	A		
直視	"		5	"	A		
球源	"		5	"	A		
電気	"		5	"	A		
圧射	"		5	"	A		
型内	"		5	"	A		
直視	"		5	"	A		
球源	"		5	"	A		
電気	"		5	"	A		
圧射	"		5	"	A		
型内	"		5	"	A		
直視	"		5	"	A		
球源	"		5	"	A		
電気	"		5	"	A		
圧射	"		5	"	A		
型内	"		5	"	A		
直視	"		5	"	A		
球源	"		5	"	A		
電気	"		5	"	A		
圧射	"		5	"	A		
型内	"		5	"	A		
直視	"		5	"	A		
球源	"		5	"	A		
電気	"		5	"	A		
圧射	"		5	"	A		
型内	"		5	"	A		
直視	"		5	"	A		
球源	"		5	"	A		
電気	"		5	"	A		
圧射	"		5	"	A		
型内	"		5	"	A		
直視	"		5	"	A		
球源	"		5	"	A		
電気	"		5	"	A		
圧射	"		5	"	A		
型内	"		5	"	A		
直視	"		5	"	A		
球源	"		5	"	A		
電気	"		5	"	A		
圧射	"		5	"	A		
型内	"		5	"	A		
直視	"		5	"	A		
球源	"		5	"	A		
電気	"		5	"	A		
圧射	"		5	"	A		
型内	"		5	"	A		
直視	"		5	"	A		
球源	"		5	"	A		
電気	"		5	"	A		
圧射	"		5	"	A		
型内	"		5	"	A		
直視	"		5	"	A		
球源	"		5	"	A		
電気	"		5	"	A		
圧射	"		5	"	A		
型内	"		5	"	A		
直視	"		5	"	A		
球源	"		5	"	A		
電気	"		5	"	A		
圧射	"		5	"	A		
型内	"		5	"	A		
直視	"		5	"	A		
球源	"		5	"	A		
電気	"		5	"	A		
圧射	"		5	"	A		
型内	"		5	"	A		
直視	"		5	"	A		
球源	"		5	"	A		
電気	"		5	"	A		
圧射	"		5	"	A		
型内	"		5	"	A		
直視	"		5	"	A		
球源	"		5	"	A		
電気	"		5	"	A		
圧射	"		5	"	A		
型内	"		5	"	A		
直視	"		5	"	A		
球源	"		5	"	A		
電気	"		5	"	A		
圧射	"		5	"	A		
型内	"		5	"	A		
直視	"		5	"	A		
球源	"		5	"	A		
電気	"		5	"	A		
圧射	"		5	"	A		
型内	"		5	"	A		

備品名	取得年度	取得価格	耐用年数	老朽化状況等	利用状況※	メーカー・型式等	備考
電解質測定装置 微量点滴検査装置 描記式超音波診断治療器 ナースコール・システム	" " 1989 " "	1. 625 225 333 436 890		異常無し 使用不能 異常無し " "	C C B C	7能ハイ、CIBMAR JMC-1 万洲、ST. Sani ionie BOMBA de INFUSAO 510 高田機械 EA-117M KH-700 ケアコム BFE	新品なるも性能悪く使用せず 操作困難 診断不能後援え付け予定
コルポスコピー装置 聴視装置 聴気装置 超音波診断装置	" " " "	686 915 6,509 8,057	8 10 5	" " " "	A A A	イナミ L600 日本光電OMP-8100K サクラ精機 FBA6S2PCE 東芝 SAL-17B	診断不能後援え付け予定



サンファン診療所施設設備品リスト

1990年9月17日現在

(1988年度までは10万円以上、1989年度以降は20万円以上の備品のみに記載。※ A:よく使用する B:時々使用する C:殆ど使用しない。単位:千円)

I. 施設

施設名	取得年度	規格・床面積等	耐用年数	老朽化状況等	利用状況※	備考
病 診 医 看 深	1961	310.90㎡	15	正常	A	1969手術準備室1983分娩室増築。1990改築。
	"	141.80㎡	15	"	A	
	1964	113.50㎡	15	"	A	
	"	55.76㎡	15	"	A	
医 師 宿 舎 深	1975		60	使用不能	C	
	1979	161.00㎡	15	正常	A	
	1982	96.00㎡	50	"	A	
医 師 宿 舎 深	1983	180.00㎡	50	"	A	

II. 車両

種類	取得年度	取得価格	耐用年数	老朽化状況等	利用状況※	メーカー・型式等	備考
救急車	1990	4,165	6			TOYOTA CARRIER BARALLA (GJ75V-6R)カワ、3.955cc	現在発注中、未配備

III. 機械・装置

機械名	取得年度	取得価格	耐用年数	老朽化状況等	利用状況※	メーカー・型式等	備考
電圧安定器	"	256	5		A	GOWLANDS INGLES	

IV. 一般備品

備品名	取得年度	取得価格	耐用年数	老朽化状況等	利用状況※	メーカー・型式等	備考
ルームクーラー	1970		15				

V. 医療機材・備品

備品名	取得年月	取得価格	耐用年数	老朽化状況等	利用状況※	メーカー・型式等	備考
保 手 マ イ ク ロ レ ー ダ ー	1979		10	正常	B	アトム V75	
	"		10	"	B	MOT-1200	
	1980		15	"	C	伊藤超音K. K. KTM-250	





# アルトパラナ診療所施設備品リスト

1990年11月1日現在

(1988年度までは10万円以上、1989年度以降は20万円以上の備品のみに記載。 ※ A:よく使用する B:時々使用する C:殆ど使用しない。単位:千円)

## I. 施設

施設名	取得年度	取得価格	耐用年数	老朽化状況等	利用状況※	備考
診療所	1962	135.10㎡	15	補修実施で継続使用中。	A	1964 (42.72㎡) 76検査室(34.80) 78レントゲン室(16.50) 81 (94.40) 増築
発電所	1965	36.00㎡	7	"	A	
水給施設	"	12.80㎡	15	"	B	
医師宿舎	1966	"	15	"	B	68給水塔、82給水塔新設。
	1967	68.31㎡	15	"	A	
医師宿舎	1970	42.00㎡	15	"	A	
看護婦宿舎	1972	67.50㎡	15	"	A	
巡回手宿舎	1978	80.00㎡	15	"	A	

## II. 車輛

種類	取得年度	取得価格	耐用年数	老朽化状況等	利用状況※	メーカー・型式等	備考
救急車	1990	5,385	6		A	TOYOTA LAND CRUISER STATION WAGON (HZJ 80-GCKRS)	助成額は4,341千円

## III. 機械・装置

備品名	取得年度	取得価格	耐用年数	老朽化状況等	利用状況※	メーカー・型式等	備考
コンプレッサ	"		10	補修実施で継続使用中。	B		
発電機	"		10	"	B		
圧力器	"		10	"	A		

## IV. 一般備品

備品名	取得年度	取得価格	耐用年数	老朽化状況等	利用状況※	メーカー・型式等	備考
便器	1981		8	使用可能。	C		
洗剤	"		15	"	A		
接続	"		15	"	A		
芯	"		15	"	C		
洋服	"		8	"	A		
力							

備品名	取得年度	取得価格	耐用年数	老朽化状況等	利用状況※	メーカー・型式等	備考
ム立接イ文	"		8	使用可能	A		
組応西洗	1982		15	"	A		
	1983		15	"	A		
	1984		5	使用不能 修理不能	A		
	"		5	"	C		380V電源の問題
食器熱消毒機	1985		5	使用不能	C		
V	"		8	使用可能	A		
ル	"		8	"	A		
ル	"		8	"	A		
ル	1985		8	"	A		
ル	"		8	"	A		
ル	"		8	"	A		
ル	"		8	"	A		
ル	"		8	"	A		
ル	"		8	"	A		
ル	"		8	"	A		
ル	"		8	"	A		
ル	"		8	"	A		

V. 医療器材・備品

備品名	取得年月	取得価格	耐用年数	老朽化状況等	利用状況※	メーカー・型式等	備考
医療器具	1979		15	使用可能	A		
検査室用スチール	"		15	"	A		
遠心分離器	"		10	"	A		
救急用吸引器	1981		8	時々故障 使用可能	A		
	"		8	"	A		
全身麻醉器	"		8	麻酔器としてのみ使用可。	B		
新生児病室用	"		15	使用可能	A		
ポックス	"		8	"	A		
	1982		8	"	A		
ポンプ	"		8	"	A		
電動型吸引器	"		8	使用不能	A		
小吸	"		8	吸引のみ使用可能	C		

備品名	取得年度	取得価格	耐用年数	老朽化状況等	利用状況※	メーカー・型式等	備考
電気冷蔵庫	1983		8	使用可能	A		
電気冷蔵庫	"		8	"	A		
電気冷蔵庫	"		8	"	A		
電気冷蔵庫	"		8	時々故障	A		
超音波診断装置	1984		5	使用可能	A		ブッキー台が欲しい。
超音波診断装置	"		10	"	A		
超音波診断装置	"		8	"	A		
超音波診断装置	"		5	"	A		
ポータブル除細動器	"		8	モニターとしては使用不可。	A		
レックフィルム自動現像器	"		5	使用可能	A		
簡易尿生化学検査システム	1985		5	"	C		コスト高のため使用せず。 現地調達他製品にて代用。
超音波洗浄機	"		5	使用不可	C		
ストレップキョウキ	"		5	使用可能	A		
WISAPコキョウキ	"		5	"	A		
凍結用器	"		5	"	C		
高圧蒸気滅菌装置	1986	2,788	8	一部故障	A	平山 MCD-1	現地調達
高圧蒸気滅菌装置	1988		10	使用可能	A		
保育顕微鏡	"	2,031	10	"	B	アトム V-80SC	"
顕微鏡	1990	394	5			福田電子	"
計器	"	358	10			サクラ精機	"
器	"	2,028	10			BANKECHT	"
器	"	213	5				"
人工妊娠中絶セット	"	782	5			アトム	"
カメラ	"	366	5			カミヤ通産	"
胃内視鏡	"	431	5			オリンパス	"

# フラム診療所施設備品リスト

(1988年度までは10万円以上、1989年度以降は20万円以上の備品のみに記載。 ※ A:よく使用する B:時々使用する C:殆ど使用しない。単位:千円) 1990年11月1日現在

## I. 施設

施設名	取得年度	規格・床面積等	耐用年数	老朽化状況等	利用状況※	備考
診療所	1967	レンガ 236㎡	15	15 類次に前編りの補修、塗装要。	A	当初49.50㎡。1976レントゲン室(16㎡)増築。1983手術分娩室等(105㎡)、87(27㎡)、88(48㎡)、89増築(40㎡)。
医師宿舎	"	" 63㎡	15		A	
看護婦宿舎	"	" 57㎡	15		A	
給水施設	1974	高さ7m	15		A	
巡回転舎	1978	レンガ 80㎡			A	
医師宿舎	1980	93㎡	50		A	

## II. 車両

種類	取得年度	取得価格	耐用年数	老朽化状況等	利用状況※	備考
救急車	1990	5,385	6		A	TOYOTA LAND CRUISER STATION WAGON (HIZJ 80-CCKRS) 助成額は4,341千円

## III. 機械・装置

機械名	取得年度	取得価格	耐用年数	老朽化状況等	利用状況※	備考
発電機	1984		10	落雷により故障中。	B	NEGRINA BRASIL 75kW MD 27.39

## IV. 一般備品

備品名	取得年度	取得価格	耐用年数	老朽化状況等	利用状況※	備考
ルムク	1983		8		A	NATIONAL
ルムク	"		8		A	"
ル電気	1984		8		A	PRODOCIMO
Vタイ	"		5	落雷により故障。修理不能。	A	TOSHIBA (V-T) 77A式
西文タイ	"		5		A	OLYMPIA SG3
ルムク	1985		8		A	NATIONAL
ルムク	"		8		A	"
ルムク	"		8		A	"
ルムク	"		8		A	三菱
ルムク	"		8		A	"
ルムク	1987		8		A	ダイキン
ルムク	"		8		A	"

V. 医療器材・備品

備品名	取得年度	取得価格	耐用年数	老朽化状況等	利用状況※	メーカー・型式等	備考
医療器具	1979		15		A	A. BASALDUA SRL	
療器	"		15		A	"	
器器	1981		8		B	ACOMA ARF-850	更新要
生成人兼手術器具	"		8		A	瑞穂医科大学 ACOMA PS8S	
新生母身	"		8		A	"	
全	"		8		A	"	
レ婦超電	1984		10		B	TOSHIBA DC-15KB	
才	"		15		A	"	
	1985		8		A	SAL-55AS	
	"		5		A	瑞穂医科大学 MOT 5500	
	"		5		A	海上電気 CA-4318S	
高コ	"		10		A	平山製作所 MCD	
コ	1986	1. 043	8		A	OLMPUS	1985年度予算にて本邦輸送
保	"		5		C	ATLAS, BRASIL	近日中に使用すべく交渉中。
血	1988	2. 031	8		B	ATOM V-80SC	現地調達
	"	241	8		A	DIC GT-4310	"
光反	"		5		A	ATOM PIT-120TL	"
線治	1989	689	5		A	マイルス三共 セラライザーⅢ	"
射	1990	3. 982	15		A	ATOM	"
移	"	2. 524	5			OLYMPUS	"
動式	"	4. 253	5			TOSHIBA	"
内超	"	3. 186	5				"



# イグアス診療所施設備品リスト

(1988年度までは10万円以上、1989年度以降は20万円以上の備品のみに記載。 ※ A:よく使用する B:時々使用する C:殆ど使用しない。単位:千円) 1990年11月1日現在

## I. 施設

施設名	取得年度	規格・床面積等	耐用年数	老朽化状況等	利用状況※	備考
診療所	1967	レンガ 673.04 m <sup>2</sup>	15	屋根改築要。塗装要。	A	1983、89増築。1985薬品室増築。
医師宿舎	1967	" 73.00 m <sup>2</sup>	15	老朽化著しい。改築要。	A	
看護婦宿舎	1968	" 54.00 m <sup>2</sup>	15	改築済。	A	
手術室	1974	" 57.50 m <sup>2</sup>	15	老朽化著しい。屋根・床改築要	A	1985年度改築に伴い、新宿舍と併設して使用中。
医師宿舎	1981	" 89.10 m <sup>2</sup>	15	塗装要。床補修要。	C	
水給	1982	深井戸 25.00 m <sup>2</sup>	15	良好。	A	
発電室	1984	レンガ 25.00 m <sup>2</sup>	50	"	A	
看護宿舎	1985	" 124.20 m <sup>2</sup>	40	"	A	

## II. 車輛

種類	取得年度	取得価格	耐用年数	老朽化状況等	利用状況※	メーカー・型式等	備考
救急車	1986	19,597	6	良好。	A	TOYOTA LAND CRUISER	1991年度更新予定

## III. 機械・装置

機械名	取得年度	取得価格	耐用年数	老朽化状況等	利用状況※	メーカー・型式等	備考
発電機	1981	440	10	良好。	A	YAMMAR TIPO AEI 12nd	
ポンプ	"	300	10	"	A	WAYNE MOD. UW8	
高圧受圧機	1982	1,619	10	"	A	TRANFODAR	
電圧調整器	"	78	5	"	A	TELEVOLT	
電圧調整器	"	78	5	"	A	"	
変圧機	1984	4,404	10	"	A	TRANFODAR	
発電機	"	7,555	10	"	B	M. W. M. 11J84. NEGRINI CM 4887	

## IV. 一般備品

備品名	取得年度	取得価格	耐用年数	老朽化状況等	利用状況※	メーカー・型式等	備考
ラック	1979	550	8	故障中。部品交換要。	C	GENERAL ELECTRIC (ブラジル)	
クーラー	"	70	8	"	C	PHILCO (ブラジル)	
テレビ	1980	84	5	"	C	TOSHIBA	
VTR	1983	865	5	"	C		
応接	"	131	8	外部調換。張り替え要。	C		木製。布張り。

備品名	取得年度	取得価格	耐用年数	老朽化状況等	利用状況※	メーカー・型式等	備考
V 西文方食洋	1984	420	5	良好。	A	SONY	
T 衣装架	"	280	5	"	B	OLYMPIA	
R プレイン	1983	78	8	"	A	GERAL	木製
服 ダン	"	121	8	損傷心どく、交換要	A		
ス 卓	"	100	8	良好。	B		
ラ	"	287	8	"	B	CONSUL	
ク	"	499	8	"	B	"	
ク	"	110	5	"	A	NATIONAL	
洗濯機	1984	236	8	"	B	SPRINGER	
ム	"	236	8	"	B	"	
ム	"			"			
洗濯物乾燥機	1985	324	5	"	A	TOSHIBA	
ム	"	2,310	8	"	B	HITACHI	
ム	"	(3台一括)	8	"	B	"	
ム	"		8	"	B	"	

V. 医療機材・備品

備品名	取得年度	取得価格	耐用年数	老朽化状況等	利用状況※	メーカー・型式等	備考
手術器具	1972	236	10	老朽化、各部損傷	C	SENKO MEDICAL CO. LTD M-300	
医療器具	1973	70	8	各部良傷	C	GENERAL ELECTRIC	
心電計	1977	357	10	"	C	瑞穂電機	
薬品	1979	89	10	"	C	ECHLAC	
生引戸	"	80	15	良好。	A	福田電子	
衛生吸引機	"	102	15	"	A	A. BASALDUA S. R. L.	
車電	"	54	5	"	B	"	
超音波診断装置	1983	59	5	"	B	TOITSU CO LTD	
レドレント機	1984	140	8	"	A	CASA LAPAL	
外科用器具	"	19,741	10	"	A	CONSUL	
キルシェンゲ	"	12,482	10	"	A	TOSHIBA SONOLAYER-L	
手高圧機	1979	171	10	各部良傷	C	TOSHIBA DRX-LLO	
高圧機	"	78	10	良好。	B	瑞穂電機	
胎児心電計	"	253	10	各部良傷	C	"	
処カル	"	223	10	良好。	C	日本電子器株式会社	
熱気	"	117	10	"	A	TOITSU CO. LTD FO-100	
	"	96	10	"	A	CASA LAPAL	
	"	369	10	"	C	成和エムイ研究所	
	"	78	10	"	C	SAKI電機	

備品名	取得年度	取得価格	耐用年数	老朽化状況等	利用状況※	メーカー・型式等	備考
高周波装置 X線フィルム現像用セット エルケレップ・フルオート ポータブルX線装置 フィルム自動現像機	" " 1980 "	169 70 659 349 808	10 10 5 5	良好 " " 各部故障。部品交換。 "	B B C C C	SANRITSU CO. LTD CASA LAPAL 三洋電気 TOSHIBA TR20-45CC BS 機上電気材料所	
自動手術用光源 計算機用光源 无影灯 止血器	" " " "	781 388 155 98 90	5 5 8 8 8	良好 故障。部品交換。 " 良好。 "	A C C A C C	中外製薬 RABAS-パーシステム MEDFENERAL DARUAS CASA LAPAL	試薬入手困難
医療用平衡器 エコーチェンコグラフィ U.C.G. レコーダー 小児用トランスデューサー 直視型内視鏡	" 1981 1982 1984	108 1. 770 1. 593 340 2. 370	8 5 5 5 5	" " " " "	A C C A A	A. BASALDUA S. R. L. ALOKA SSD-110S SONY ALOKA UST 2161 D-5-5R OLYMPUS GIF-XQ	
大レクチャ 光源 高周波 直流電解型除菌装置	" " " "	3. 013 828 2. 580 1. 892 861	5 5 5 5 5	" " " " "	A A A A A	" " CF LB3W LS-2 CLV キャノン OLYMPUS UES-2 " TOKKI I-180A	
直流電解型除菌装置 インファント・ウォーマット 光線治療ユニット 顕微鏡 全自動顕微鏡写真装置	" 1985 " " "	3. 424 4. 366 1. 309 3. 465 2. 984	8 5 5 5 5	" " " " "	B A A A A	日本光電 TEC-5200-B ATOM V-3200N " PIT 120TL OLYMPUS BHS-313 " BH 2	
新生児呼吸器 高圧自動電歯	" " 1986 "	1. 230 950 10. 661 1. 146 2. 871	8 5 5 5 8	" " " " "	B B A B A	ATOM CM-5814 AUTOC MOD-103 エルマ OPTICAL WORKS LTD PC 604 MIC 6710 ATLAS-ONIX	
高圧酸素吸入器 分心器 吸引器 電動式	1988 " 1989 1990	902 4. 516 891 637 2. 524	10 8 10 5	" " " "	A A A A	平山 HA-3D ATOM 808 日本光電 BOC-8110 ATOM VP-400 アトム	現出困難 " " " "
新生児保温器	"	1. 178 1. 708				ヤスタ アトム	" "

1991年3月15日

## オキナワ診療所送付機材リスト

1985年度

(購入費のみ・単位：千円)

機 材 名	型 式	個 数	金 額	備 考
(本邦購送分) 自動血球計算器 救急車 高圧蒸気滅菌機	IL7 PC-604	1式 1台 1式	( 8.461) 2.237 6.224 不明	
(示達分) 医師宿舎増築			(7.483) 7.483	

1986年度

(購入費のみ・単位：千円)

機 材 名	型 式	個 数	金 額	備 考
(本邦購送分) 大腸内視鏡の修理 反射光度計	オリンパス マウス三共	1式	( 2.168) 322 1.600	1982年度機材 協会申請
マイクロ遠心器	セライダー タネタKM15200	1式	246	協会申請
(示達分) 看護婦宿舎増築			(10.203) 10.203	

1987年度

(購入費のみ・単位：千円)

機 材 名	型 式	個 数	金 額	備 考
(本邦購送分) 胃内視鏡 レクチャースコープ修理 反射光度計消耗品 内視鏡保管庫(除湿器付き) 顕微鏡修理	GIF P-10  松吉医科 オリンパス AHB-LB-2	1式	( 2.301) 1.200 278 480 343 不明	瀬尾医師申請  86年度機材消耗品 84年度機材
(示達分) 入院室・検査室増築			(6.074) 6.074	

1988年度

(購入費のみ・単位：千円)

機 材 名	型 式	個 数	金 額	備 考
(本邦購送分) 反射光度計試薬・試験紙			( 694) 694	瀬尾医師申請 86年度機材消耗品
(示達分) コルポスコープ			( 5.298) 767	
超音波診断装置用プリンター			387	
顕微鏡			260	
蒸留水精製装置			234	
電解質測定装置			1.625	
微量点滴注入装置			225	
消毒器			437	
他 新生児処置台、酸素テント 光線療法装置等			1.363	
(追加示達分) 外塀防犯フェンス設置			( 700) 700	

1989年度

(購入費のみ・単位：千円)

機 材 名	型 式	個 数	金 額	備 考
(本邦購送分) ワープロ	CANOWORD 4100	1 式	(19.110) 292	瀬尾医師申請
視力検査表	高田機械 EA-117M	1 式	333	瀬尾医師申請
描記式卵管通水診断治療器	KH-700	1 式	436	瀬尾医師申請
ナーコールシステム	ケック BFE	1 式	890	瀬尾医師申請
コルポスコープ	イナミLG00	1 式	686	以下超音波診断装
内視鏡保管庫用滅菌ランプ	三共GL-10	10 個	20	置を除き大沢医師
	東芝FC-1E -13262-03	10 個	1	申請

反射光度計部品	D-99400534	1個	59	86年度機材消耗品
小林式吸引器用部品			59	
分娩監視装置	OMF-8100K	1式	915	86年度機材消耗品
反射光度計用カリブレーター			165	
高圧蒸気滅菌装置	サテ 精機 FBA6S2PCE	1式	6.509	
撮像器具・X線 腔鏡等			688	診療所申請
超音波診断装置	東芝SAL77B	1式	8.057	

1990年度

(購入費のみ・単位：千円)

機 材 名	型 式	個 数	金 額	備 考
(購送分)			(1.420)	大沢医師申請
分娩セット・帝王切開器具等			930	
妊娠暦・反射光度計用試薬等			282	86年度機材消耗品
反射光度計用試薬・自動血球計 算機用消耗品			208	84/86年度機材消 耗品
(示達分)			(17.358)	
救急車	TOYOTA FJ80L-GCM RS	1台	3.358	購入価格は 4.165 千円
診療所増改築			14.000	

1991年3月15日

サンファン診療所送付機材リスト

1985年度

(購入費のみ・単位：千円)

機 材 名	型 式	個 数	金 額	備 考
(購送分) 医学書		1冊	(1.612) 12	松本医師申請
反射光度計	マイス三共 セライザ-		1.600	
顕微鏡	オリンパスBHTU- 312		不明	
保育器	アトム P-1		不明	

1986年度

(購入費のみ・単位：千円)

機 材 名	型 式	個 数	金 額	備 考
(購送分) 反射光度計消耗品			( 136) 65	85年度機材消耗品 協会申請
医薬品(精神安定剤等)			5	
消耗品(体温計・薬品等)			66	

1987年度

(購入費のみ・単位：千円)

機 材 名	型 式	個 数	金 額	備 考
			( 0)	

1988年度

(購入費のみ・単位：千円)

機 材 名	型 式	個 数	金 額	備 考
(本邦購送分)			( 698)	
電気手術器部品	リソバ		70	
	MA-514	1個		
	-515	5個		
	-516	1個		
レクチャースコープ	リソバLS-10	1個	500	
医学書		23冊	128	一谷医師申請
(示達分)			( 4.540)	
全身麻酔器	福田電子	1式	2.014	
	AN40-10M			
高速遠心器	J-2550-72	1式	529	
デルマトーム	No. 277-40	1式	774	
乾熱滅菌器	315-008-80	1式	241	
孵卵器	002.0090	1式	65	
圧縮式髓内リーマー	No. 297-84	1台	543	
髓内釘打込み器		1式	185	
キューンチャー髓内釘		8組	189	
(追加示達分)			( 700)	
診療所補修			312	
医師宿舎補修			102	
救急車補修			104	
備品購入(整理棚等)			182	



1989年度

(購入費のみ・単位：千円)

機 材 名	型 式	個 数	金 額	備 考
(上半期示達分)			( 3.000)	
歯科機材	KAVO	1式	1.149	
歯科用消毒器	315 SE-2	1式	57	
光電高度計	SPECTRONIC	1式	305	
自動血球計算計	CC 510	1式	654	
オートクレーブ	FANEM #4	1式	465	
電圧安定器	TOPAZ 2KVA	1式	256	
耳鏡	GOWLANDS INGLES	2式	113	
(下半期示達分)			( 2.001)	
血液検査測定器		1式	2.001	
(下半期購送分)			( 8.057)	
超音波診断装置	東芝SAL77B	1式	8.057	診療所申請

1990年度

(購入費のみ・単位：千円)

機 材 名	型 式	個 数	金 額	備 考
(示達分)			( 3.357)	
救急車	トヨタ FJ80L- GCMRS	1台	3.357	購入価格は4.165 千円
			( 5.000)	
コルポスコープ	オリンパスCP-M6	1式	495	
顕微鏡	オリンパス BHS-312	1式	837	
顕微鏡	オリンパス BHT-111	1式	482	
ポータブル・モニター	日本光電 OEC-6102K	1式	576	
手術器具セット		1式	726	
上部消化器内視鏡	オリンパス GIFXP-20	1式	1.890	

1991年3月15日

## アルト・パラナ診療所送付機材リスト

1985年度

(購入費のみ・単位：千円)

機 材 名	型 式	個 数	金 額	備 考
(本邦購送分) 自動血球計算機用部品 X線フィルム自動現像機		1式	( 29) 29 不明	血球計算機(1981 年度取得)は1989 年9月に処分済
(示達分) 改 築			( 455) 455	

1986年度

(購入費のみ・単位：千円)

機 材 名	型 式	個 数	金 額	備 考
(本邦購送分) メラ多用途呼吸器 臨床生化学検査システム試薬 医学書 麻酔薬			( 178) 13 不明 7 158	落合医師申請 85年度機材消耗品 落合医師申請
(示達分) 歯科器具		1式	( 689) 689	

1987年度

(購入費のみ・単位：千円)

機 材 名	型 式	個 数	金 額	備 考
(本邦購送分) 内視鏡付属品他消耗品 試薬類 医薬品		7種 32箱	( 97) 65 12 20	
(示達分) 医師・看護婦宿舍改築			( 9.139) 9.139	

1988年度

(購入費のみ・単位：千円)

機 材 名	型 式	個 数	金 額	備 考
(本邦購送分) 整形外科器械			( 204)	堤医師携行機材
(ハンドドリル)	ミズホ0101600	1式	47	
スライマン氏骨釘	〃0105701	60本	42	
キルシュナー網線	〃01063A~G	70本	18	
フリーハンドデルマトーム	〃0303401	1式	84	
エスマル社氏駆血帯)	MIC 12501	1式	3	
(示達分)			( 4.819)	
オートクレーブ	平山MCD-1	1式	2.788	
保育器	アトム V-80SC	1式	2.031	

1989年度

(購入費のみ・単位：千円)

機 材 名	型 式	個 数	金 額	備 考
(本邦購送分)			( 358)	堤医師申請
トロッカー・カテーテル	ニプロ	5本		
シリコンTチューブ		15本		
内視鏡用鉗子類	リンパス	8本		
(示達分)			( 5.839)	
ビジュアル・テスター他			3.018	
医療器具			2.821	

1990年度

(購入費のみ・単位：千円)

機 材 名	型 式	個 数	金 額	備 考
(示達分)			(19,341)	
救急車	トヨタ LAND CRUISER HZJ 80- GCKRS	1台	4,341	更新 購入価格は5,385 千円
偏光顕微鏡		1台	394	
心電計	カダ 電子	1式	358	
エアー・タニット	ミナ	1式	115	
高圧滅菌器	サワ	1式	2,028	
点滴スタンド		2式	136	
乾燥機	BANKECHT	1台	104	
脱水器	"	1台	213	
眼科用新型軽量試験枠	伊ミ	2式	20	
眼鏡試験枠	東大式	1式	53	
人工妊娠中絶セット	ATOM	1式	782	
コルポスコープ	カシ 通産	1式	366	
胃内視鏡	OLYMPUS	1式	431	購入額2,560 千円 差額は診療所収入 見合ひ補填
診療所増改築			10,000	

1991年3月15日

## フラム診療所送付機材リスト

1985年度

(購入費のみ・単位：千円)

機 材 名	型 式	個 数	金 額	備 考
(購送分)			(15.074)	
コルポスコープ			1.043	
超音波診断装置		1式	14.031	
電動手術台		1台	不明	
高圧蒸気滅菌機		1式	不明	
(示達分)			( 607)	
改 築			607	

1986年度

(購入費のみ・単位：千円)

機 材 名	型 式	個 数	金 額	備 考
(示達分)			( 689)	
歯科器具		1式	689	

1987年度

(購入費のみ・単位：千円)

機 材 名	型 式	個 数	金 額	備 考
(示達分)			( 1.905)	
診療室増築			1.905	

1988年度

(購入費のみ・単位：千円)

機 材 名	型 式	個 数	金 額	備 考
(示達分)			( 5.126)	
保育器	ATOMV-80SC	1式	2.031	
血球検査用装置	DIC GT4310	1式	241	
光線治療用ユニット	ATOM PIT120TL	1式	689	
避妊用リング		300本	478	

XENONランプ 他		5個	1,236 451	
---------------	--	----	--------------	--

1989年度

(購入費のみ・単位：千円)

機 材 名	型 式	個 数	金 額	備 考
(示達分) 反射光度計  医療器具	マイルス三共 セラライザ-III	1式	(4,068) 3,982 86	

1990年度

(購入費のみ・単位：千円)

機 材 名	型 式	個 数	金 額	備 考
(示達分) 救急車	トヨタ LAND CRUISER HZJ 80- GCKRS	1台	(12,888) 4,341	更新 購入価格は5,385 千円
分娩台	ATOM 805	1式	2,524	
胃内視鏡	OLYMPUS	1式	4,253	
移動式超音波診断装置	TOSHIBA	1式	222	購入額は3,186千 円、差額は診療所 収入見合の補填
診療所増改築			1,547	

1991年3月15日

イグアス診療所送付機材リスト

1985年度

(購入費のみ・単位：千円)

機 材 名	型 式	個 数	金 額	備 考
(本邦購送分)			(43.503)	
セラライザー用試薬			256	中外製薬 RABAシステム(1980年度購送)の部品
自動血球計算器部品			232	
超音波診断装置		1式	12.200	
自動血球計算機		1式	10.661	
保育器		1台	4.366	
顕微鏡		1式	3.465	
顕微鏡用撮影装置		1式	2.984	
光線治療ユニット		1式	1.309	
新生児処置台		1台	1.230	
高圧蒸気滅菌機		1式	950	
救急車	TOYOTA	1台	15.850	

1986年度

(購入費のみ・単位：千円)

機 材 名	型 式	個 数	金 額	備 考
(示達分)			( 6.444)	
歯科器具		1式	689	
電気焼灼器		1式	1.146	
看護婦宿舍改築			4.609	

1987年度

(購入費のみ・単位：千円)

機 材 名	型 式	個 数	金 額	備 考
(本邦購送分)			( 63)	
肝機能検査試薬		10箱	63	日本人会申請
(示達分)			( 2.596)	
手術室・看護婦宿舍改築			2.596	

1988年度

(購入費のみ・単位：千円)

機 材 名	型 式	個 数	金 額	備 考
(本邦購送分)			( 359)	松本医師申請
医学書		17冊	182	
小林式スライド腔鏡		2個	72	
鉗子類		6本	105	
(示達分)			(11.918)	
分娩台	ATOM 808	1式	4.516	
オートクレーブ	平山 HA-3D	1式	902	
病棟増築			6.510	資産増築

1989年度

(購入費のみ・単位：千円)

機 材 名	型 式	個 数	金 額	備 考
(示達分)			( 5.062)	内訳金額に為替差 損による誤差あり
心電計	日本光電 ECG-8110	1式	891	
吸引器	71A VP-400	1台	1.410	
鉗子・ストレッチャー				
医療器具類			2.155	

1990年度

(購入費のみ・単位：千円)

機 材 名	型 式	個 数	金 額	備 考
(示達分)			( 5.000)	
電動式手術台	ATOM	1式	2.524	
スタンド式無影灯	キタ	1式	1.178	
新生児保育器	ATOM	1式	1.298	購入額1.708千円 差額は診療所収入 見合の補填



診療所医師ローテーション表(1)

1991年2月20日

診療所	1959	1960	1961	1962	1963	1964	1965	1966	1967	1968
アトバラナ			11/ ***** 横志武彦		3/ ***** 大森 茂		6/1 ***** 矢野 博	8/1 *****	5/30 *****	11/6(1970.6/18) ***** 新妻芳夫 (1969.3/27) ***** 坂井真三郎
イグアス			1961年診療所建立		5/15 *****			***** 王 國梁		(1969.3/31) *****
ファミ					7/15 *****		***** 野口 藏	3/ *****		5/26(1970.5/26) ***** 橋本ヨシ子
サンプァン			11/ ***** 白木幹太		5/5 *****		***** 長尾正顕	11/11 *****	***** 新妻芳夫	11/2 11/2(1971.6/) ***** 松本裕太郎
オキナワ (第1)	4/ 高良 健	8/ 4/ 野原雄介	5/ 9/ 野原雄介	5/ 5/ 当間恵三	9/ 9/ 吉田清吾 4/	4/ 9/ 金井孝雄	8/ 6/ 菅間 広 6/	8/ 8/ 山里博成	??? ***** 古 栄裕 2/	4/16 7/9(1969.10/) ***** 北川 洋
(中央・第2)										8/ 6/ (1969.6/5) ***** 野口 藏
										8/ 10/30(1970.10/29) ***** 小笠原博
										1967年7月1日オキナワ診療所JICAへ移管

診療所医師ローテーション表(2)

1991年2月20日

診療所	1969	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978
アルトバラ 新妻芳夫 (1967.5/30)3/27 坂井順三郎 8/4 橋本佳子	6/18	12/20	4/30 8/	新妻芳夫	6/30 6/14	3/13	11/ 5/10	中辻幸克	1/31	
	5/6	西正徳 7/13 土田 裕	新妻芳夫 6/19 7/1	熊谷 清	6/1 3/31	島中孝基				
イグアス 王 四彦 3/23 臼崎成司	5/11 8/30	久保信一郎	6/19 7/1	新妻芳夫	4/17 5/24	(1979.5/20)	鈴木勇次			
	5/25	7/19	12/4 12/3	細井敏三	5/11 10/ 11/2 8/ 8/10(1980.3/10)	中辻幸克 神谷利明 北川 洋				
フランム 橋本ヨシ子 11/ 7/27 北川 洋	6/ 7/6	田中 亮	9/15 10/6 3/3	坂井順三郎 9/1 10/5 賀集一平	12/2 5/20 7/13	5/1 6/24	10/7	8/9 3/31	神谷利明	
	6/ 7/6	松本裕太郎	明瀬英教							
オキナワ (第1) 北川 洋	6/30	美濃部政平	1/4	山口 登 6/16 8/31 10/6	8/31 7/17 3/15	ALVARO MIRANDA	3/23(1979.12/31)	鳥越律子		
	10/	駕 進 10/30	賀集一平(第2) 6/26 6/23	賀集一平 6/10 7/17 2/19	新井正之 小川勝也	4/1 5/31	宇山謙徳 4/30	鳥越義房		
(中央・第2) 野口 巖 (1968.10/30) 小笠原博	6/25	10/29	9/3	大森 茂	3/1 7/31 8/1 3/31 2/1	PALACIO JOSE MIRANDA FERREIRA				

診療所医師ローテーション表(3)

1991年2月20日

診療所	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988
アルトノラナ	1/28 松本裕太郎 松本純子 熊谷 清 (1978.6/1)3/31 島中孝基	4/30 7/2 4/30 4/1	御供正孝 三井雄雄	7/1 3/31 4/1	3/19 浜田和夫 赤城孝一	9/12 3/31 4/1	落合順宏 三井雄雄	9/13 3/31 4/1(1982.3/31)		
イグアス	(1977.5/24)5/20 5/30 鈴木勇次	5/29 5/1 立見裕彦	4/30 4/23	4/22 4/25 佐野敬司	宮城茂樹	4/21 4/19(1980.12/2)	栗杉 基			松本裕太郎
フ ラ ム	(1978.8/10) 北川 洋	3/14 4/15 6/30 田中良穂	4/1	田中良穂	9/30 11/25					(1980.11/30)
オキナワ (第1)	1/30 神谷利明 (1978.8/9)3/31	1/31 神野 純	3/28	5/7	松本裕太郎	12/27	5/25 (1989.10/9) 一谷英夫 3/31			
オキナワ (第2)	12/11 鳥越静子 (1978.3/22) 12/31	12/10 11/27 小原俊一	4/15	4/14	岡南台雄	赤城孝一				
		4/1 3/31 神谷利明	5/城清雄	1985年8月1日 オキナワ同診療所 統合	井上和雄 5/	神谷利明	翁長武志			

診療所医師ローテーション表(4)

1991年2月20日

診療所	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995
アクトバナ	3/24 堤一彦 (1988.4/1)	7/31 三井治雄	3/31				
イグアス	(1988.4/19)	12/2 12/3 田中良穂	3/31				
アラム	(1985.11/25)	11/30 12/1 11/30 島中孝基					
サンファン	(1988.5/25)10/9 10/1 一谷英夫 (1986.5/23)3/31 4/1 赤城孝一 (1981.11/27)11/25 12/18 神谷771 藤尾 幸 (1985.8/1)	新田加味 大沢良治	9/30 12/17				
	(1988.4/9) 10/ 3/31 4/1	井上和雄	3/31				
	翁長武志 上地 力 名森村ホルヘ						

\*\*\*\*\* 派遣医師

\*\*\*\*\* 現業医師

===== 診療所雇用医師

\_\_\_\_\_ 琉球政府派遣医師

\*表中の月日は原則として契約開始日・終了日  
但し、不明の場合一職任・職任日とした。

サンタ クルス総合病院（日本病院）概要

1990年12月現在

沿革	<p>厳しい自然条件、貧困及び医療行政の立ち後れから医療、保健サービスの水準が著しく劣っている亜熱帯気候下の東部ボリヴィアにおいては、消化器系疾患や熱帯病が深刻な問題となっている。そこで1982年の無償協力要請に基づき、我が国は近年急速に人口が増加している東部中核都市サンタクルス市に総合病院を建築した（引き渡し式1986年）。また、病院建築中診療各科及び病院管理、医療機器管理に係る技術協力の要請があったことを受けて、1987年12月より5年間に互りプロジェクト方式技術協力を実施している。</p>
設備・備品 人材配置 (1990年 8月現在)	位 置： サンタクルス市内
	建 築 面 積： 11,809㎡
	ベ ッ ト 数： 125床
	医 師 数： 81名（うち歯科医3名）
	看 護 婦 数： 136名（うち正看67名、准看69名）
	その他従業員： 総従業員398名
	医 療 機 材： 断層撮影装置等、主要機材は日本から供与している
その他設備： 集中治療室、救急外来、差額ベット等。薬局は無い。	
機能・特色	<p>*1990年産婦人科病棟を開設したことにより、歯科を含む全科の設置が完了した。技術的にはボリヴィアにおける最高級の医療機関である。</p>
活動状況	<p>*患者数は約300人/日。ほぼ病院の収容能力の限界に近い。 *プロ技協が開始されてから患者数、収益共に増加しており、1990年2月にはそれまでの債務（殆ど職員給与の遅配）およそ22万ドルの支払いを完了する等、経営は概ね好調である。</p>
運営体制	<p>*サンタクルス州衛生局が主管であるが、州の各主要公共機関（11機関）を責任機関とする病院運営委員会が実質的な運営に関する最高決定機関である。ボリヴィアの中でもサンタクルス州は極めて地方分権意識が強く、保健省からの監督・指導等はあるも運営委員会がかなり主体的に運営を行っている。 *保健省経営の病院であるが、国費補助だけでは運営不可能であり、例えば人件費の半分は病院の収益から増額補填している。 *近年ボリヴィア側責任者の運営に関する意識も飛躍的に向上してきている。</p>
JICA援助	<p>*病院建築・施設整備のための無償資金協力を1983年5.05億円、1984年18.47億円、1985年18.48億円実施。（合計42億円） *個別専門家を1986年3名派遣。 *青年海外協力隊を1990年10月までに累計11名派遣。1987年12月に医療協力部と青年海外協力隊事務局との間でプロジェクト専門家と協力隊員との関係を規程した合意書を締結。 *病院各科及び病院管理、機材管理分野でのプロジェクト方式技術協力を1987年12月から5年間の協力期間で実施中。</p>
当面の問題点	<p>*技術協力によって改善されつつあるとはいえ、病院の予算管理、在庫管理、料金表等について以前改善すべき点がある。 *外来患者に対する医療サービス、PHCの問題等についても今後解決すべき点がある。</p>

ペルーヘスス・マリア日秘診療所概要

1990年11月現在

沿革	日本人ペルー移住80周年を記念し、80周年祝典委員会により計画・建設され、1981年3月開所した。その後JICAからの医療機材供与、日本船舶振興会による援助（1986年9月新診療所の完成）等により次第に施設が整備された。
設備・備品 人材配置	位置： リマ市内、中心部付近。
	建物： 4階建。他にカルテ保管棟あり。
	医師数： 85名（うち約70%が日系であり、50人程度が本邦研修経験者）、各医師4h勤務3交替制。
	その他従業員： 総従業員115名。
	医療機材： JICA助成による医療機材多数あり。
	その他設備： 人間ドック。なお入院設備はない。
機能・特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 予防衛生に重点を置き、現在24科目を設置。</li> <li>* 他の医療機関のおよそ3分の1程度の料金で診療している。</li> <li>* 日本人会及び日系人がその経営に大きく貢献している。</li> </ul>
活動状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 外来約600名/日、うち約10%が日系。</li> <li>* 検査機器を用いて外部からの注文検査を行い収益に資している。</li> <li>* 独自の収益で①70才以上日系老人の無料診察、②年2回地方在住日系人の巡回診療、③日系4小学校の無料健康診断、④困窮過程への無料診断等を実施している。</li> <li>* 日系人で40歳以上の婦人を対象とした検診、及び一般心臓検査を実施。</li> <li>* 1989年CAYETANO HEREDIA大学と技術交流などを目的とした協定を締結。独自で医学会を企画する等積極的に現地医療技術の向上に貢献している。</li> </ul>
運営体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 週1回、管理部門の職員・医療系職員それぞれの定例会があり、また月1回はそれを統合した形での顧問相談会を開催している。</li> <li>* 歴代の副院長に会計士を起用しており、経営に関する意識が強い。</li> <li>* 最新の医療機材を利用できるというメリットはあるが、勤務医の給与は低く、特に日系医師は奉仕的精神で働いている。</li> </ul>
JICA援助	* 単独機材供与を1982年（29,027千円）、88年（50,347千円）実施。
当面の問題点	* 患者数の急増により（1日約250人の新患が来院）、カルテの収納スペースが限界に近づいている（現在約10万冊保管、12人の職員が管理に従事している）。コンピューターによるカルテ管理システムを独自に開発し、打開策とすることを検討中。

サンパウロ日伯友好病院概要

1990年12月現在

沿革	<p>日本語が通じ日本食を提供できる病院をという日系人の願いを踏まえ、1985年にサンパウロ日伯援護協会が中心となって約千名の日系人により建設委員会を結成、1986年6月に着工、1988年6月18日ブラジル日本移民80周年記念式典の日に落成され、9月に開院した。</p> <p>総工費約12億円（502万ドル）、うち1億円は日本政府の援助。JICAからも資金・医療機器供与等の協力を行った。</p>
設備・備品 人材配置	位置： サンパウロ市内であるが、中心部から車で約30分。
	建築面積： 7,100㎡、6階建て
	ベット数： 120床
	医師数： 109名（うち約80%が日系）、各医師4h勤務
	看護婦数： 約170名（うち約25%が日系）
	その他従業員： 総従業員約460名のうち約40%が日系
	医療機材： 最高価機材は血管造影X線診断装置（通常価格1億7000万円）
その他設備： 人間ドック、差額ベット、診療車2台、	
機能・特色	<p>*総合病院であるが特に成人病（癌の早期発見）、消化器計を専門としている。精神科、歯科を除き全科設置。外来のための薬局は有しない。</p> <p>*病院独自の医療共済制度を1990年10月から開始。（診察料無料・7割補助・3割補助の3プラン且つ年齢により3段階に分け、会費を設定。）</p>
活動状況	<p>*外来120名/日、検診等を含めると300名/日。うち約20%が日系。入院患者のうち平均すれば約40%前後が日系。</p> <p>*経営は概ね良好であり、1990年度から経常経費で収支0に近くなる見込。</p>
運営体制	<p>*経営審議会（会員37名。サンパウロ日伯援護協会会長・副会長他、東京・住友・三菱等主要な銀行の頭取等も参加。病院側からは院長含め医師3名が参加。）</p> <p>*月1度定例会（常任委員会：14名、と審議会を隔月交代で開催）。総会は毎年3月。</p>
JICA援助	<p>*医療特別機材供与を1986年（52,038千円）、87年（48,894千円）、89年（約50,000千円）実施。</p> <p>*移住医療機材供与を1986年（14,102千円）実施。</p>
当面の問題点	<p>*インフレが深刻なため、病院職員の給与を毎月調整する必要がある。</p> <p>*患者数が急増しており、早くも現在の設備では限界に来ている。援協では、設備を更に2倍にすることを検討中。</p>

1. カルメン病院

- (1) 正式名称: Micro Hospital EL CARMEN  
(旧 Puesto Medicoを1990年12月に改称)
- (2) 所在地: オキナワ第1移住地センター地区
- (3) 運営団体: 公共健康委員会 (Comite de Salud Publico)
- (4) 創設: 1982年7月16日開所
- (5) 資金出所: CORDECRUZ、地元団体、オキナワ日暮協会等  
1989年までカトリック協会から薬品の供与あり
- (6) 施設: 敷地 320㎡、建物約 180㎡、診察室2、入院病棟1  
(ベット4床)、受付・薬品室1、
- (7) 人員: 医師1名、看護助手1名
- (8) 医療機材他: 診察台他軽治療器具
- (9) 活動状況: 患者約15/日、近隣の低所得層

2. ヌエボ・オリゾンテ診療所

- (1) 正式名称: Puesto Medico NUEVO HORIZONTE
- (2) 所在地: ワルネス郡 ヌエボ・オリゾンテ  
オキナワ第2移住地センター地区より約18km
- (3) 運営団体: 地元Alcardia、医師等
- (4) 創設: 1982年3月
- (5) 資金出所: CORDECRUZ
- (6) 施設: 敷地1ha、建物約140㎡、診察室2、薬品・受付1、  
入院室5(ベット5床)、
- (7) 人員: 医師1名週1回、看護婦1名常駐
- (8) 医療機材他: 診察台2他軽治療器具
- (9) 活動状況: 医師の在不在に関わらず10人/日程度

3. チョロニ診療所

- (1) 正式名称: Clinica CHORONI
- (2) 所在地: アンドレス イバネス郡 メノニータ移住地  
オキナワ第3移住地センター地区より約14km
- (3) 運営団体: MISION EVANGELICA MENONITA
- (4) 創設: 1963年 Mision Canadienseにより設立
- (5) 資金出所: MISION EVANGELICA MENONITA
- (6) 施設: 敷地1ha、建物約180㎡、診察室1、分娩育児室1、  
入院室2(ベット8床)、食堂炊事場1、倉庫2、  
医師宿舎1棟(約40㎡)、看護婦宿舎1棟(約30㎡)  
洗濯場1棟(約20㎡)、発電室1棟(約25㎡)、  
車輛3台
- (7) 人員: ボリヴィア人医師1名、メノニータ看護婦1名
- (8) 医療機材他: 診察台、手術台、分娩台、育児器、手術・分娩器具他  
中レベルの機材あり
- (9) 活動状況: 1~10名/日、派遣医師からボリヴィア人医師になり  
また道路事情が良くなるにつれて患者は減少している  
近隣ボリヴィア人移住者 (Colonia Bergtahl)、El  
Vid のメノニータの他、第3移住地の日系人等



1990年12月現在

1. イチロ病院

- (1) 正式名称: Hospital ICHILO
- (2) 所在地: SAN CARLOS
- (3) 運営団体: 1988年から5年計画でイタリアの国際協力団体が運営
- (4) 創設: 1980年 CORDECRUZとサーレス会(Salcsiana)が建設
- (5) 資金出所: イタリアの国際協力団体  
貧困患者の場合はカトリック協会からの援助あり
- (6) 施設: ベット37床、救急車等  
管轄下に6診療所(POSTA SANITARIA)あり
- (7) 人員: 病院は医師4名、検査技師1名、X線技師1名、看護婦(見習いを含む)13名、社会福祉(修道所)1名、事務員1名、運営管理(イタリア人)1名、運転手1名、雑役夫10名  
(4診療所には各医師1名、2診療所には各看護助手1名を派遣)
- (8) 医療機材他: X線装置、検査機器、歯科治療機器、一般手術機材、分娩手術台、分娩台、保育器、光線療法治療台等
- (9) 活動状況: 患者約500/月(内初診者300名)

2. ヤパカニ病院

- (1) 正式名称: Hospital YAPAKANI
- (2) 所在地: ヤパカニ地区
- (3) 運営団体: カトリック教会の運営を経て現在保健省が運営
- (4) 創設: 1965年ボリヴィア開拓協会により建設
- (5) 資金出所: 保健省  
貧困患者の場合は教会、村役場から援助を受けている
- (6) 施設: ベット10床  
管轄下に7保健所あり
- (7) 人員: 医師3名、看護婦5名、薬局1名、事務員1名、雑役夫7名常駐  
7保健所には見習い看護婦常勤、医師が交代で巡回
- (8) 医療機材他: 何も無し
- (9) 活動状況: 患者約500/月(内初診者300名程度)  
週2回「ラジオ・イチロ」を通して衛生教育を実施



## 参 考 资 料



# オキナワ移住地健康保険制度について

※ 幸 地 広  
※ 瀬 尾 幸

1. はじめに
2. オキナワ移住地健康保険組合の設立
3. オキナワ移住地健康保険組合の運営状況
4. オキナワ移住地健康保険制度の今後の展望
5. おわりに

## 1. はじめに

日本における昭和62年度の国民医療費は18兆759億円で、国民一人当たりの医療費は14万7,800円となり、前年比5.6%の増加を示し、昭和50年度の6兆4,779億円と比較すると12年で約3倍の増加をきたしている。つぎつぎに開発される診断機器による診断技術の飛躍的な向上、各種の新しい治療法、新薬の開発は、従来救命、回復が困難な疾患の治療に大きく貢献し、平均寿命を年々更新している反面、65才以上の高齢人口が10%強となり、今後確実な増加が見込まれることにより、当然国民医療費の増加が予測される現状にあたり、高度成長を遂げてきた医療保険制度も大きな転換期を迎えつつあり、今後

※ (こうち ひろし)

(せお みゆき)

にむけての早急な対策が必要である。

一方、社会保障制度の不備な外国で生活している日本人は医療保険制度の適応を受けられず、たとえ加入できても膨大な受益者、慢性的赤字経営、国の一貫した政策の欠如のため、設備、医療機器の不備、老朽化のため、より設備の整った病院で自費による治療を余儀なくされるのが現状である。

南米大陸のほぼ中央に位置する内陸国ボリビアのサンタ・クルス市およびその周辺の二つの日本人移住地(オキナワ移住地、サン・ファン移住地)に合計1,752名の戦前、戦後の移住者、外交、移住事業、国際協力事業、民間企業の職員が在住している。(1984年)二移住地には、それぞれ診療所があり、日本人移住者と移住地内および周辺のボリビア人の診療にあっている。ボリビアの医療保険制度も他の近隣諸国と大同小異で、石油公団、教職員、軍隊、炭鉱等の保険組合があり、なかには基幹病院を持ち、特約保険診療を行っているものもあるが、商業、農業、小規模経営の事業団体が加入できる政府機関の国民保険は、政府の援助も乏しく、カウンセラーによる3~5段階の料金制度がさらに運営面で複雑、困難にしている。その上、完全な医薬分業制度の徹底のために、必要な薬品が購入できず満足な治療が受けられない場合もありうる。

このような医療事情のなかで、一旦病気にかかると多額の治療費がかさみ、その結果、当然家計を圧迫することは必定である。そこで、このような経済的損失を少なくするための、相互扶助により生活の安定に役立つことを目的とした医療保険制度の設立が急務であるとする考えが1982年頃からオキナワ移住地の一部の人々の間での懸案になった。

しかし移住地診療所の経営は長年にわたる国際協力事業団の援助により、なんとか赤字を免れるのが実情であった。そこで従来不十分であった臨床検査機器の整備、診断機器の新設を国際協力事業団の援助で行ない、迅速な検査と診断の正確化を図り、以前第一、第二診療所に分散していた施設を1985年に統合したことを契機に徐々に周辺のポリビア人の受診が増加しはじめた。従来年間3~4,000人の患者数が表1に示すように1986年12,456人、1987年21,097人、1988年22,395人と急増する結果となり、一方診療所の経営の機能的な合理化を進めることにより医療保険制度の導入の下地ができた。1985年パラグアイの三日本人移住地の役員がオキナワ移住地に来訪され、席上、各移住地ともに医療保険の積み立てを始めていることをお聞きしたのも大きな刺激になったことは勿論である。

## 2. オキナワ移住地健康保険組合の設立

### 1) 予備調査

1987年に入り、前年度(1986年)の全カルテの総点検を行ない、性別、年代別日本人・ポリビア人比率、それぞれの平均診療日数、一人当たり平均治療費を計上、1988年前半で1987年のカルテを同様に点検し、日本人の医療費の伸び率を算出したうえで日ボ協会(オキナワ移住地の行政機関)の役員会で承認を受けた後、直ちに地域別の懇談会を開催した。大半の移住者

は戦後の沖縄県で健康保険の恩恵がないまま移住されているため、健康保険制度に対する理解がやや困難な点もあったが、全懇談会でほぼ全員の賛同が得られた。

第一回の健康保険組合設立委員会が開催され、診療所運営委員長により、1986年、1987年のカルテ及び決算報告書をもとに算出した一人当たりの負担金額、保険給付率、保険の適応範囲、実施時期についての提案があり、その後1988年末までに数回の会合がもたれ、1989年1月1日からの実施が決定した。

### ii) オキナワ移住地健康保険組合制度の概要

#### a. オキナワ移住地健康保険組合への加入資格

オキナワ日ボ協会員とその家族及び同居者(会員の血縁関係者)又は健康保険組合運営委員会(あるいは日ボ協会役員会)で認められた者。

#### b. 保険金の払い込み義務と保険の適用

(i) 加入した者が現住所に居住しているにもかかわらず、掛金の途中滞納をした場合、保険金の給付を受けようとする時点で過去の月数分を完納しない限り保険は適用しない。

(ii) 在籍会員が数年後に加入申し込みをした場合、加入時年度の過ぎた月数分と過年度1カ年分の掛金を完納しない限り保険は適用されない。

(iii) 日ボ協会の会員が、ある事情(目的)のため外国へ出て加入が遅れ、帰国後加入する場合、当該年度内の過ぎた月数分の掛金を納めるものとする。

(iv) イ、ロ、ハ項いずれの場合も掛金の払い込み、あるいは加入時より当保険の適応を受けることができるが、それ以前の医療費については保険は適用されない。新生児についても同条件とする。

- c. 保険金は3カ月の一括払いとし、年4回の分割払いとする。ただし年度初めの1カ月以内に1カ年前払いの場合は10%の割り引きをする。
- d. 日ボ協会の賦課金3カ月分以上滞納した場合は保険金の受領を断わる。
- e. オキナワ診療所における医師の診断を受けた者を対象とする。
- f. 月額一人あたり1.5\$ (1989年度)とし、各家庭ごとに保険組合に納入する。
- g. 保険給付率は、オキナワ診療所で受けた総診療費(初診、再診、処置、検査、投薬、手術、入院費)の4割(40%)を給付する。(1989年度)
- h. 受診者はオキナワ診療所の窓口で診療費の6割(60%)を支払い、診療所は各月末に月間総受診者の総診療費の4割(40%)をオキナワ移住地健康保険組合に一括請求する。(1989年度)
- i. 次年度の保険料及び保険給付率は、年度末の保険組合決算により算定する。
- j. 保険加入者の出産、死亡の場合は20\$ usの慶弔費が支給される。
- k. オキナワ診療所以外の医療機関での診療については保険給付外である。
- l. オキナワ診療所以外での各種検査については保険給付外である。
- m. オキナワ診療所での薬剤のみの購入(診察を受けない)については保険給付外である。
- n. 保険給付についての疑義は健康保険組合運営委員会が検討、決定する。
- o. オキナワ移住地健康保険組合運営委員会は、日ボ協会会長、三地域長、国際協力事業団オキナワ事業所長の5名の委員、顧問にオキナワ診療所所長の6名により構成される。

### 3. オキナワ移住地健康保険組合の運営状況

1989年1月、日ボ協会及びオキナワ診療所からオキナワ移住地健康保険組合に、健康保険組合基金として230,000\$ us が移管され、各家庭単位での入会手続きと健康保険証の交付がオキナワ日ボ協会で行われた。

1989年1月オキナワ移住地健康保険組合発足時の加入世帯数は121戸、加入組合員数536人(日ボ協会員総数828人の65%)が1989年10月31日現在の加入世帯数155戸、加入組合員数669人(81%)と着実に増加している。(表2)

各月別の外来患者数、入院患者数、総診療費、保険給付金は表3に示すとおりで、10カ月間の総診療費は49,837.82 ポリピアース、保険組合から診療所に支払われた保険給付金は19,935.12 ポリピアースで、10月31日現在の積み立て保険金残額は4,134.73\$ us で、今後大きな\$ ; ポリピアースの為替レートの変動がないかぎり1989年度の健康保険組合の運営は順調な経過が見込まれる。(10月31日現在の為替レートは1\$ = 2.9 ポリピアース)

### 4. オキナワ移住地健康保険制度の今後の展望

幸いにも日本の医療保険制度は世界でも屈指のものであり、更に隣国のブラジルのベレン・アマゾン病院の日系人医療サービス制度(健康保険)というよいお手本があり、それぞれの長所、問題点についての検討をはかることによってオキナワ移住地に適合した独自の健康保険制度に育て上げるためには、今後いろいろの改良が必要であろう。

日本においては、大正11年に健康保険法が制定されているが、昭和36年度からの国民皆保険がスタートしたことにより、国民のすべてが平等に健康保険で医療を受けられる体制ができあが

った。職域保険とよばれる政府管掌健康保険、組合管掌健康保険、船員保険、国家・地方公務員共済組合、公共企業体職員等共済組合、私立学校教職員共済組合と、地域保険といわれる国民健康保険の七つの制度から成り立っているが、歴史的、技術的等の理由から、それぞれの健康保険の負担額と保険給付率に格差があり、国民一人一人の保険給付と負担は平等でなければならない健康保険制度の骨子から考えると未だ不合理な面がうかがえる。昭和48年老人医療費無料化制度がスタート、昭和57年老人保険法が公布されているが、急速な高齢化による保険財政の逼迫などから、厚生省、医師会の間で医療保険制度の一本化、一元化についての活発な討議がなされている。

ボリビアの隣国のブラジルの医療保険制度は、1966年INPS（国家社会保険院）が従来無統一であったものをまとめ、1977年SINPAS（国家社会保険援護機構）として現在の社会保障制度が成立している。しかし、このようにブラジル全土に社会保障制度が法的に確立されているものの問題点も多く、その一例として134年の歴史を誇る300床のベレン社会保険病院では、医師数230名、従業員数450名で一日外来患者数200名、慢性の赤字経営で、設備、医療機器の老朽化が認められる。一方ブラジル日本人農業移住者は、当初この社会保障制度から外され、その後加入できても健康保険医療機関の不備のため、満足な医療保険の恩恵をうけるのに多くの問題があった。そこでアマゾン日伯援護協会は、独自に日本人移住者会員の医療保険制度をつくり、ベッド数44床、医師数30名のアマゾン病院で安心して医療サービスが受けられる制度が1981年に130世帯から発足した。国際協力事業団からの最新医療機器の供与もあり、全科の医師が常勤し、大部分の疾患の治療が受けられる。1987年の統計では、加入家族数914、総会員数3,159名、年間医療サービス利用者450名で、

総会員の14%が保険で医療を受けたことになる。1981年から1987年の6年間に130世帯から約7倍の915世帯に急増していることから健康保険制度の高い有用性がうかがえる。

ボリビアの不十分な社会保障制度のなかでの健康保険制度は、少ない負担での適性な医療は期待できないのが実情であり、医療費の充分な負担ができる人たちは、より設備の整った自由診療（健康保険が適応しない）の医療機関での診療を受ける傾向にある。公立の健康保険を扱っている総合病院でも、病院専属の医師、病院勤務と個人開業を兼務の医師、能率給の医師の混在するなかでは、責任の所在が不明瞭になりやすく、病院の運営にも無関心になりがちで、病院内の高価な医療機器等の操作も多くの医師が携わるため保管理が不十分となる。医師の能率給は利点もあるが、ともすると乱診乱療を招き、医師のモラルの低下にもつながる危険性を含んでいる。さらに診察料、検査項目、手術料それぞれの歩合が異なり、保険の適応事項も複雑なため事務運営管理部門に多くのスタッフが必要になる。

未だ発足1年に満たないオキナワ移住地の健康保険制度は規模も小さく不備な点も多いため、今後この保険制度をいかに管理し、どのように継続、発展させていくかが最重要課題である。まず第一に低額の保険料で高い保険給付が受けられることが健康保険の理想ではあるが、健康保険組合員の年次推移、年齢別の移住地の人口動態、医療費の伸び率を的確に把握し、適切な保険料、給付率を設定していかなければ基金そのものを侵食することになり、このことは直ちに健康保険制度の破綻につながるものである。第二に現在移住地内にあるオキナワ診療所のみで通用する健康保険制度であるが、現状のオキナワ診療所は規模、医師数、看護婦数、パラメディカルのスタッフからして全診療科目の治療は不可能で、あくまでも一次診療の場である。さらに高度の検査、治療、手術につ



いては、移住地から40km離れたモンテロ、100km離れたサンタ・クルスの総合病院に依頼しているのが実情である。そこで将来、これらの総合病院でオキナワ移住地健康保険が適用されるような協定ができれば、いままで自費で支払っていた診療費の負担が軽くなり、患者の立場からすれば安心して保険で治療が受けられることになる。しかし移住地診療所とモンテロ、サンタ・クルスの総合病院との間に診療費の格差があり、この点に関しては慎重な検討が必要である。第三にもう一つの日本人移住地であるサン・ファン移住地と、サンタ・クルス在住の日系人、その他の地域のポリビア在住日系人のための、より大きな健康保険制度への発展があれば、在ポリビア日本人全員が健康保険の恩恵にあずかることになる。しかし、この設立には莫大な基金が必要であり早期の実現は困難と考えられるが、地域ごとに健康保険組合が設立されれば、たとえそれぞれの保険給付率が異なっても徐々に統合一本化の方向に向かうことが可能である。第四に健康保険組合基金の福利厚生面への運用により、より快適な健康

生活に寄与できるものとする。

期末の基金利息から年間保険給付金に欠損がでた場合、この利息で補填し、余剰金の一部は基金に組み入れ、残額は将来の福利厚生施設等の積立金とし、例えば老人福祉施設、健康増進のための公営総合体育施設、医療保健面での奨学金制度等への活用もあながち夢ではないものとする。医療費の年々の上昇に対応し、健全な健康保険制度を貫くためには当然膨大な基金の蓄積がなければ対処できないことは明らかであり、今後の基金の厳密な管理、運営によってこの健康保険制度をさらに強固なものとし、移住者の健康管理に寄与し続けていかなければならない。

## 5. おわりに

歴代診療所運営委員会の上原 忠雄氏、中田喜正氏、桜井 宏章氏、オキナワ移住地健康保険組合運営委員長 与那覇 光雄氏、井上 和雄医師、神谷 アウグスト医師、翁長 武志医師、看護婦及び職員、日ボ協会役員及び会員の皆様の御協力に深甚の感謝の意を表します。

表1. 年度別入院・外来別患者数

年 度	日 本 人		ポ リ ビ ア 人		合 計
	外 来	入 院	外 来	入 院	
1986年度	2,882	43(153)	9,464	65(190)	12,456
1987年度	4,283	74(249)	16,700	39(142)	21,097
1988年度	4,447	79(358)	17,806	62(145)	22,395

表2. オキナワ移住地健康保険組合世帯・組合員数

	世 帯 数	組 合 員 数	加 入 率 (組 合 員 数 / 日 ボ 会 員 総 数)
1989年1月(発足時)	121	536	65%
1989年10月(現在)	155	669	81%

表3. オキナワ移住地健康保険月別診療費・給付金 (Bs. = ポリピアース)

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
外来患者数	51	44	97	66	56	51
入院患者数	6	10	9	8	4	2
総診療費	2,779.60	3,239.80	6,462.05	9,097.00	2,700.77	2,089.60
保険給付金	1,111.84	1,295.92	2,584.82	3,638.80	1,080.30	835.84

7 月	8 月	9 月	10月	計
48	81	57	76	627人
8	6	7	4	64人
6,769.60	5,825.70	3,556.20	7,317.50	49,837.82 Bs.
2,707.84	2,330.28	1,422.48	2,927.00	19,935.12 Bs.



JICA



LIB